

中央図書館整備調査報告書

平成30年3月

ひたちなか市

目次

はじめに	1
第1章 中央図書館の現状及び特性と問題点	2
1-1 市立図書館3館1分室の現状の整理	2
(1) 市立図書館の沿革	2
(2) 各館の機能・役割と概要	4
(3) サービス	7
(4) 組織体制	9
(5) 蔵書	10
(6) 利用状況	13
1-2 他自治体との整備水準の比較	17
(1) 類似団体(Ⅳ-2)14市との比較	17
(2) 茨城県内市30市との比較	20
第2章 ひたちなか市の概要・まちづくりの方向性と新中央図書館の位置づけ	22
2-1 ひたちなか市の概要	22
(1) 地理	22
(2) 歴史	22
(3) 人口	23
2-2 産業	25
(1) 産業分類別就業人口及び構成比(15歳以上)	25
(2) 農業	25
(3) 漁業	26
(4) 工業	26
(5) 商業	27
(6) 観光	28
2-3 まちづくり・教育の方向性と新中央図書館の位置づけ	29
(1) まちづくりの総合的な方向性	29
(2) 中心市街地整備の方向性	30
(3) 教育の方向性	31
第3章 新中央図書館のあるべき姿と整備方針	32
3-1 中央図書館の課題	32
(1) 資料面での課題	32
(2) 施設面での課題	32
(3) サービス面での課題	32
(4) まちづくり面での課題	33
3-2 新中央図書館の整備理念等あるべき姿	34
3-3 新中央図書館の整備方針	34
(1) 整備方針1「まなび」：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援	34
(2) 整備方針2「みのり」：日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ	35

(3) 整備方針3「あそび」：知的好奇心を刺激し, 子どものアソビをマナビに	35
(4) 整備方針4「未来へ」：地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに 貢献.....	35
第4章 新中央図書館の蔵書規模とサービス方針.....	36
4-1 蔵書規模の検討.....	36
(1) 収蔵冊数の検討.....	36
(2) 開架・閉架比率の検討.....	39
(3) 一般書・児童書割合の検討.....	43
4-2 サービス方針の検討.....	44
(1) まナビ：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援.....	44
(2) みのり：日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ....	45
(3) あそび：知的好奇心を刺激し, 子どものアソビをマナビに.....	45
(4) 未来へ：地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献	46
第5章 施設規模・整備候補地の検討.....	48
5-1 施設規模の検討.....	48
(1) 必要諸室・規模の設定.....	48
(2) 駐車台数の検討.....	51
5-2 整備候補地の検討.....	53
(1) 整備候補地.....	53
(2) 整備候補地の概要.....	54
(3) 整備候補地における整備イメージの検討.....	55
(4) 整備候補地の比較検討状況.....	63

はじめに

中央図書館は、昭和 49 年 5 月の開館から 43 年が経過し老朽化が進み、施設の規模や機能について、市民の要求に応えることが難しくなっています。

また、市民及び有識者で構成される図書館協議会から答申された「ひたちなか市立図書館の今後のあり方」では、中央図書館は建替えが必要であるとのことをご提言をいただいております。これらを踏まえ、中央図書館の建替えについて新中央図書館整備検討委員会において総合的に調査、研究及び検討を進めています。

本調査では、この検討委員会などにおける検討・協議をさらに深め、総合的な視点から調査、研究及び必要な情報の収集、分析などを行いました。

調査の内容

- (1) 中央図書館の現状及び特性と問題点
- (2) ひたちなか市の概要・まちづくりの方向性と新中央図書館の位置づけ
- (3) 新中央図書館のあるべき姿と整備方針
- (4) 新中央図書館の蔵書規模とサービス方針
- (5) 施設規模・整備候補地の検討

1-1 市立図書館3館1分室の現状の整理

(1) 市立図書館の沿革

本市は、平成6年の勝田市と那珂湊市の合併によりひたちなか市となりました。前身の那珂湊市では、昭和42年に宮崎慶一郎氏（那珂湊市名誉市民）からの「報恩会図書館」の寄贈で那珂湊市立図書館が開館し、勝田市では昭和49年に勝田市立図書館が開館しました。新館の整備や2市の合併、館名変更などを経て、現在は中央図書館、那珂湊図書館、佐野図書館、津田分室の3館1分室体制で運営しています。

表 1-1 市立図書館の沿革

年月日	事項
昭和18年	(那珂湊) 那珂湊市立図書館の前身「報恩会図書館」(私立図書館)が宮崎慶一郎氏により創設
昭和42年4月1日	(那珂湊) 宮崎慶一郎氏が経営する「報恩会図書館」の蔵書・土地・建物が市に寄贈され、那珂湊市立図書館が開館
昭和49年5月19日	(勝田) 勝田市立図書館開館
昭和53年5月8日	(那珂湊) 那珂湊市立図書館新館開館(旧図書館は分館として存続)
昭和58年3月1日	(那珂湊) 分館が那珂湊市社会福祉会館2階に「分室」として移転
昭和63年4月1日	(勝田) 津田分室開設
平成6年11月1日	勝田市・那珂湊市合併「ひたちなか市」となる 各館の名称変更 「ひたちなか市立勝田図書館」「ひたちなか市立那珂湊図書館」
平成10年4月1日	(勝田) ひたちなか市立中央図書館に名称変更
平成11年10月2日	(佐野) 佐野図書館開館
平成16年9月30日	(那珂湊) 海門分室閉鎖

資料：『平成29年度図書館要覧』



資料：『ひたちなか市第2次都市計画マスタープラン』

図 1-1 市立図書館の位置

(2) 各館の機能・役割と概要

① 各館の機能・役割

旧勝田図書館である中央図書館が中央館機能を担い、市内全域のサービスを展開しています。JR勝田駅に近い中心市街地に立地し、子どもや高齢者、ビジネスマンなどを含む幅広い市民に利用されています。那珂湊図書館、佐野図書館、津田分室の各館は、地域住民を対象に立地条件などの特性なども活かしたサービスを展開しています。

表 1-2 各館の機能・役割

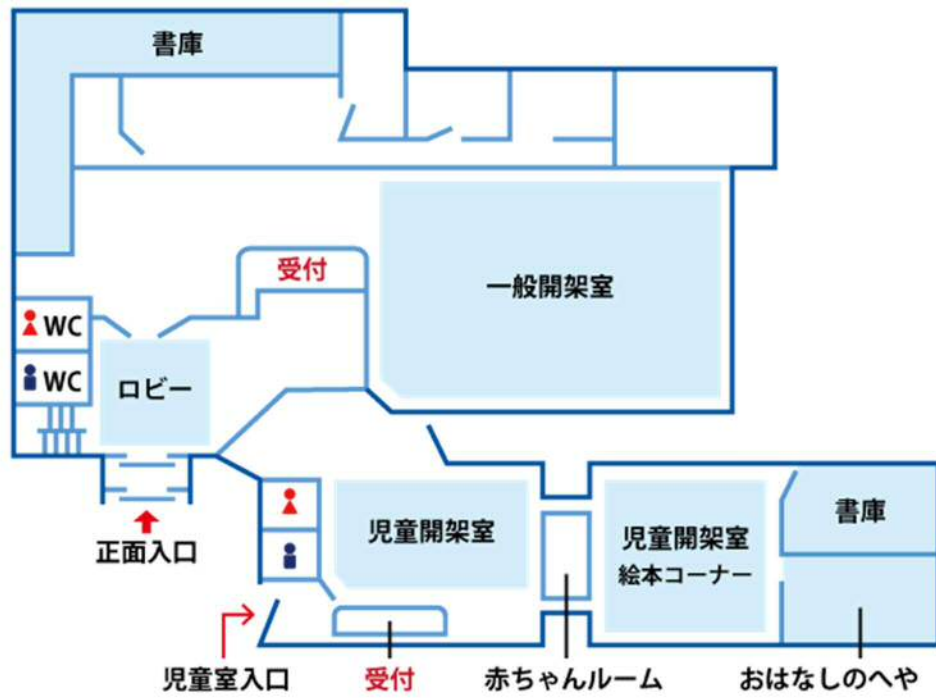
館名	機能・役割
中央図書館	<ul style="list-style-type: none">・中心市街地に位置し、地域住民のみならず幅広く多くの市民に利用されている・中央館として、他の2館1分室に対する連絡調整機能を有し、市立図書館運営の拠点施設として市内全域へのサービスを展開する
津田分室	<ul style="list-style-type: none">・西部地区住民の利用に配慮し、津田公民館の一室を使用して開設した・5,000冊程度の蔵書数ながらも貸出、返却の中継地として重要な役割を果たす
那珂湊図書館	<ul style="list-style-type: none">・他の公共施設に隣接しており、規模は小さいながらも那珂湊地区の住民に親しまれ利用されている・海や漁業など地理的な条件を活かした蔵書の特色を持つ
佐野図書館	<ul style="list-style-type: none">・市の北西部の人口増加による図書館利用の必要性を踏まえて開館した・着実に利用実績を伸ばし、多くの地域住民に利用されている

資料：『ひたちなか市立図書館の今後のあり方について』

② 中央図書館の現状と各館の概要

中央図書館は、築後43年が経過し、施設の老朽化・狭隘化が進行しており、施設・設備に劣化や不具合が生じています。蔵書冊数は約24万冊、そのうち開架冊数は約14万冊で、開架スペースや閉架書庫の不足から、蔵書の充実が難しい状況です。閲覧席や学習席といった読書や学習のためのスペースや、ロビーや飲食コーナーといった休憩のためのスペースが狭く、視聴コーナーも設置していないため、主に貸出・返却などを目的とした施設となっています。また、ロビーや飲食コーナーの音が一般室に響いてしまうなどの問題も生じています。一般室と児童室は入り口が異なり、フロアが分離していることから、行き来に不便はあるものの、子どもや親子連れが自由に利用できる環境となっています。また、バリアフリー化については、通路の拡幅や自動ドアの設置などを進めています。エレベーターが未整備であるなど、一部未対応となっています。

1F



2F

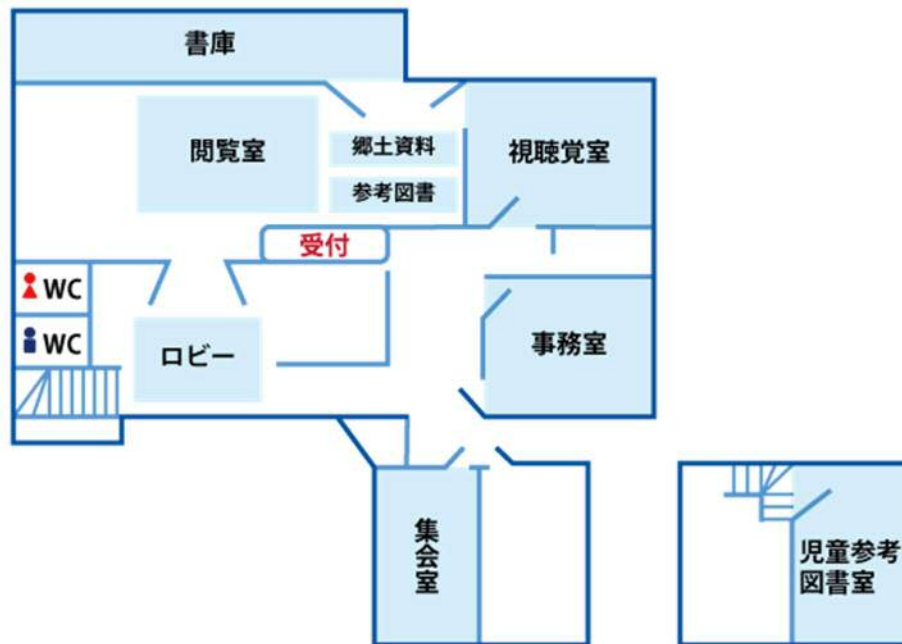


図 1-2 中央図書館館内案内図

表 1-3 各館の概要

項目	中央図書館		那珂湊 図書館	佐野 図書館	合計	
	中央図書館	津田分室				
1 開館年月日	昭和49年 5月19日	昭和63年 4月1日	昭和53年 5月8日	平成11年 10月2日	-	
2 所在地	元町 5番3号	津田 2732番地	鍛冶屋窪 3566番地	高場 1362番地1	-	
3 延床面積(m ²)	1,868.14	30.53	890.75	1,488.34	-	
4 職員数(人)	合計	20	2	9	11	42
	専任	10	-	5	5	20
	非常勤	10	2	4	6	22
5 開館日数(日)	274	-	276	274	-	
6 入館者数(人)	合計	266,217	-	69,209	125,185	460,611
	一般	169,807	-	-	-	-
	児童	96,410	-	-	-	-
7 蔵書冊数(冊)	合計	241,535		95,833	137,776	475,144
	(うち開架冊数)	(140,775)		(90,313)	(93,992)	(325,080)
	一般書	148,792		69,570	97,011	315,373
	児童書	86,149		23,099	35,882	145,130
	紙芝居	2,071		1,203	1,082	4,356
	視聴覚資料	4,523		1,961	3,801	10,285
8 貸出者数-個人 (人)	合計	93,775	1,716	25,192	57,357	178,040
	一般	65,676	1,361	18,717	42,921	128,675
	児童	28,099	355	6,475	14,436	49,365
9 貸出冊数-個人 (冊)	合計	412,656	5,640	112,422	282,566	813,284
	一般書	180,309	2,269	53,951	125,779	362,308
	児童書	203,251	3,090	52,284	142,523	401,148
	雑誌	10,936	201	3,078	7,180	21,395
	紙芝居	3,599	80	1,529	4,002	9,210
	視聴覚資料	14,561	-	1,580	3,082	19,223
10 貸出団体数(団体)	208	-	-	-	208	
11 貸出冊数-団体 (冊)	合計	1,116	-	-	-	1,116
	一般	305	-	-	-	305
	児童	811	-	-	-	811
12 リクエスト件数(件)	10,789	1,146	2,411	6,356	20,702	
13 相互貸借(件)	貸出	389	-	223	229	841
	借受	587	-	111	293	991
14 レファレンス件数(件)	5,786	51	519	1,498	7,854	

資料：『平成 29 年度図書館要覧』（※開架冊数は『平成 28 年度茨城の図書館』）

(3) サービス

① 利用条件

中央図書館，那珂湊図書館，佐野図書館の3館の開館時間は，平日は午前9時から午後7時まで，土・日・祝日は午前9時から午後5時まで，休館日は月曜日，5月の祝日などとなっています。中央図書館は団体図書を所蔵し，団体貸出サービスを提供しています。

表 1-4 利用条件

項目	中央図書館		那珂湊図書館	佐野図書館
	中央図書館	津田分室		
開館時間	平日：午前9時～午後7時 土・日・祝日： 午前9時～午後5時	平日：午前10時～午後5時 土・日： 午前10時～午後4時 (祝日は休館)	平日：午前9時～午後7時 土・日・祝日： 午前9時～午後5時	
休館日	月曜日（祝日のときは，祝日後の直近の平日）・第4木曜日・5月の祝日・年末年始 特別整理期間			
利用登録 条件	市内に在住・在勤・在学している方 広域利用対象8市町村（水戸市，笠間市，那珂市，小美玉市，茨城町，大洗町，城里町， 東海村）に在住している方			
個人貸出	図書・雑誌 10点以内（15日以内） 紙芝居 5点以内（15日以内） ビデオ・CD・DVD等 5点以内（内DVDは2点以内）（8日以内）			
予約・ リクエスト	1人5点まで 雑誌の最新号，ビデオ・CD・DVD等の視聴覚資料は予約不可			
団体貸出	5人以上の団体に対して 50冊，期限は2か月以内 読み聞かせ資料，視聴覚機 材，教材を貸出	-	-	-
自宅配本	市内在住の身体障害者手帳をお持ちの方（1級～3級）に資料の宅配を実施 1回10点以内，期限は30日以内			

資料：『平成29年度図書館要覧』

② サービス実施状況

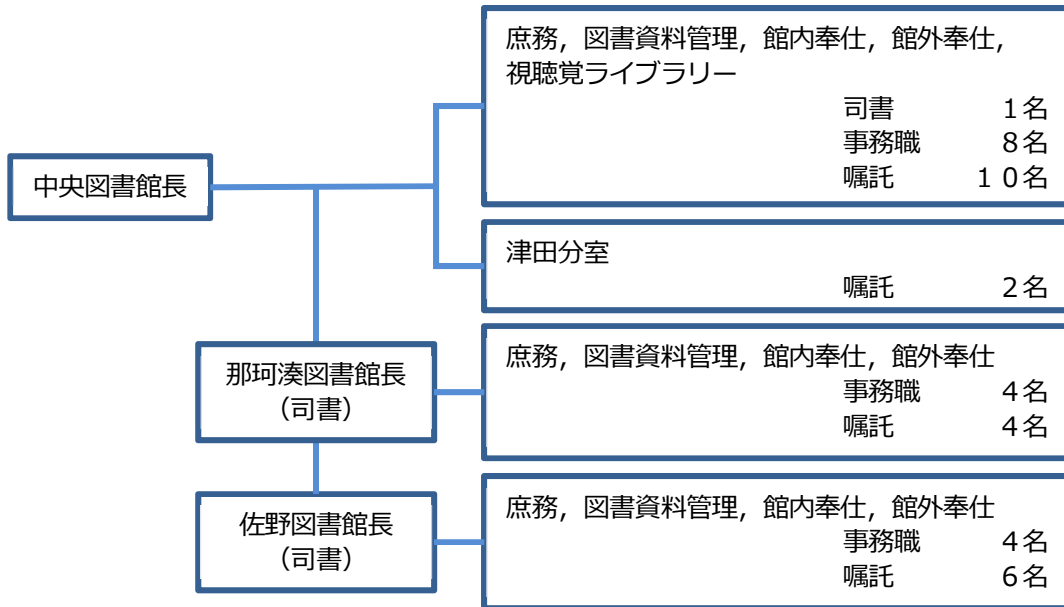
市立図書館では，子育て支援や学校教育支援，各種団体等との連携など，市民の抱える様々な課題の解決に資するサービスを展開しています。催事などは子どもを対象とした内容が中心となっています。乳幼児を対象とした読み聞かせは，職員のほかボランティアによるおはなし会も開催しています。行政支援，ビジネス支援，法律や健康医療情報の提供においては，関連図書の収集・提供を行っていますが，スペースの不足により，専用コーナーの設置が難しい状況となっています。各種団体等との連携は，現在連携が図られている団体等は一部で，その連携内容は配本やパンフレット等の設置が中心となっています。また，平成29年10月1日にオープンした，子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」内の，子育て支援センター「ふぁみりこ」には絵本コーナーや子育てに関する情報コーナーなどがあることから，役割分担を踏まえ，連携したサービス展開の可能性がります。

表 1-5 サービス実施状況

No.	課題項目	事業内容	No.	課題項目	事業内容		
1	子育て支援	「あかちゃん絵本」等のブックリスト作成	7	資料の収集・提供 等(パンフレット)	市観光パンフレット(観光協会)		
		子ども用利用案内作成			求人広告(新聞折込)の設置【再掲】		
		読み聞かせ(乳児・幼児)の定期開催			求人誌設置・配布【再掲】		
		子ども映画会の定期開催			アルバイト情報本の設置		
		夏休みの講座等の開催			食生活改善推進員作成レシピ配布		
		子育て支援サークルによるリズム遊びと読み聞かせ	8	セミナー・講演	各種講座の開催(子ども向け)		
2	学校教育支援	団体貸出	9	各団体等との連携(市役所内を含む)	各種講座の開催(大人向け)		
		学校支援図書パックの貸出			特設コーナーの設置(健康推進課ほか)		
		採択教科書(小学・中学 全教科)の収集			パネル展(総務課ほか)		
		幼稚園児・小学生の図書館訪問の受入			パンフレット等の設置(健康推進課ほか)		
		インターンシップ・職場体験学習の受入			その他 庁内との連携 (健康推進課:赤ちゃんふれあい体験学習等)		
		読書感想文の書き方講座開催			読み聞かせ連絡会(団体)や読書グループ連絡協議会との事業連携		
3	行政支援	市発行の計画書等の設置	9	各団体等との連携(市役所内を含む)	コミセン等との連携(配本・事業共催)		
		パブコメ資料の設置			社協との連携(募金, 配本)		
		専門書・地場産業関連図書の収集			市内学校との連携(見学受入, 絵画展示等)		
		白書等の収集			商工会議所報の設置【再掲】		
		ビジネス本・就職関係本の収集			市内事業者との連携(ひたちなか海浜鉄道等)		
4	ビジネス支援	就職・資格取得関係本の収集	10	10	県内市町村報の設置		
		商工会議所報の設置			その他との連携(県, 他市町村 ほか)		
		求人広告(新聞折込)の設置			11	11	図書館協議会による評価の実施
		求人誌設置・配布			11	教育 情報リテラシー	図書館ホームページの作成
オンラインデータベース閲覧サービス	図書館情報管理システム(蔵書検索, 予約等)						
オンラインデータベース閲覧サービス(法情報総合データベース: D1-Law)	各種オンラインデータベース閲覧サービス(新聞・法律等)						
5	法律情報の提供	憲法に関する特集コーナーの設置	11	11	インターネット閲覧環境の整備		
		特集コーナーの設置(メンタルヘルス等)			毎月の図書館だよりの提供		
6	健康医療情報の提供	海原文庫に健康・医療関連専門図書設置	12	その他	リユース本の配布		
		健康情報パンフレット設置・配布			身体障害者へのサービス		

(4) 組織体制

中央図書館長の下に那珂湊図書館長・佐野図書館長が置かれ、津田分室は中央図書館が管理しています。市立図書館全体の職員数の合計は、嘱託職員を含めて42名で、市正規職員は20名で嘱託職員は22名です。市正規職員のうち司書は3名です。



資料：『平成29年度図書館要覧』

図 1-3 図書館組織体制

(5) 蔵書

① 現況の蔵書冊数

市立図書館全体の蔵書冊数は475,144冊で、その半数以上の241,535冊が中央図書館の蔵書です。中央図書館は他館に比べて、児童書の所蔵の割合が高くなっています。市立図書館全体の蔵書構成は、一般書が66.4%、児童書が30.5%となっているのに対し、貸出冊数は一般書が45.8%、児童書が50.7%となっており、児童書の利用が上回っています。

表 1-6 現況の蔵書冊数

資料種別	蔵書冊数								貸出冊数 (市立図書館合計)	
	中央図書館		那珂湊図書館		佐野図書館		合計		冊数	構成比
	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比		
図書計	234,941	97.3%	92,669	96.7%	132,893	96.5%	460,503	96.9%	763,456	96.4%
一般書	148,792	61.6%	69,570	72.6%	97,011	70.4%	315,373	66.4%	362,308	45.8%
児童書	86,149	35.7%	23,099	24.1%	35,882	26.0%	145,130	30.5%	401,148	50.7%
視聴覚資料計	6,594	2.7%	3,164	3.3%	4,883	3.5%	14,641	3.1%	28,433	3.6%
カセットテープ	345	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	345	0.1%	41	0.0%
ビデオテープ	1,003	0.4%	0	0.0%	952	0.7%	1,955	0.4%	284	0.0%
CD	1,548	0.6%	509	0.5%	1,224	0.9%	3,281	0.7%	5,208	0.7%
DVD	1,367	0.6%	1,275	1.3%	1,534	1.1%	4,176	0.9%	13,611	1.7%
CD-ROM	260	0.1%	177	0.2%	91	0.1%	528	0.1%	79	0.0%
紙芝居	2,071	0.9%	1,203	1.3%	1,082	0.8%	4,356	0.9%	9,210	1.2%
合計	241,535	100.0%	95,833	100.0%	137,776	100.0%	475,144	100.0%	791,889	100.0%

資料：『平成29年度図書館要覧』※中央図書館には津田分室を含む（以降同様）

② 蔵書冊数の推移

蔵書冊数は、中央図書館では平成24年度から減少傾向にあるものの、市立図書館全体では微増傾向にあり、特に佐野図書館で増加しています。中央図書館の減少は、平成25年度から平成26年度にかけて、バリアフリー化に伴う通路の拡幅により書架数を削減し、団体図書を中心に複本等の除籍を行ったことによります。

表 1-7 蔵書冊数の推移

館名	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	冊数	指数	冊数	指数	冊数	指数	冊数	指数	冊数	指数
中央図書館	254,426	1.00	241,800	0.95	238,638	0.94	239,119	0.94	241,535	0.95
那珂湊図書館	90,413	1.00	93,246	1.03	95,152	1.05	95,827	1.06	95,833	1.06
佐野図書館	119,575	1.00	125,533	1.05	130,014	1.09	134,408	1.12	137,776	1.15
合計	464,414	1.00	460,579	0.99	463,804	1.00	469,354	1.01	475,144	1.02

資料：『図書館要覧（平成25年度～29年度）』

③ 各館の蔵書構成

A：一般書

中央図書館の蔵書構成比を他館と比較すると、9類の文学が44.6%と10%以上高くなっており、参考図書も6.0%と高くなっています。また、中央図書館では、団体貸出用の団体図書を所蔵しています。郷土資料は、中央図書館で7,489冊と所蔵が多くなっているほか、那珂湊図書館でも行政資料を含む値ではあるものの蔵書冊数の8.2%にあたる5,706冊を所蔵しています。佐野図書館は、文庫の蔵書構成比が9.0%と他館に比べ高い比率を占めるほか、点字本を所蔵しています。

表 1-8 分類別蔵書冊数及び構成比（一般書）

分類名	中央図書館		那珂湊図書館		佐野図書館		合計	
	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比
0: 総記	1,992	1.5%	1,531	2.2%	2,805	2.9%	6,328	2.1%
1: 哲学・宗教	3,784	2.8%	2,119	3.0%	2,615	2.7%	8,518	2.8%
2: 歴史・地理	8,816	6.6%	5,148	7.4%	6,411	6.6%	20,375	6.8%
3: 社会科学	12,333	9.2%	7,637	11.0%	10,939	11.3%	30,909	10.3%
4: 自然科学	7,013	5.2%	3,723	5.4%	6,788	7.0%	17,524	5.8%
5: 技術工学	9,229	6.9%	6,193	8.9%	9,526	9.8%	24,948	8.3%
6: 産業	2,746	2.0%	2,157	3.1%	3,128	3.2%	8,031	2.7%
7: 芸術	9,197	6.8%	6,112	8.8%	7,634	7.9%	22,943	7.6%
8: 語学	1,355	1.0%	945	1.4%	1,325	1.4%	3,625	1.2%
9: 文学	59,978	44.6%	23,913	34.4%	29,604	30.5%	113,495	37.7%
K: 郷土資料	7,489	5.6%	5,706	8.2%	3,176	3.3%	16,371	5.4%
R: 参考図書	8,064	6.0%	2,798	4.0%	2,279	2.3%	13,141	4.4%
M: マンガ	671	0.5%	0	0.0%	977	1.0%	1,648	0.5%
G: 行政資料	348	0.3%	0	0.0%	299	0.3%	647	0.2%
T: 点字本	2	0.0%	0	0.0%	767	0.8%	769	0.3%
N: 文庫	1,511	1.1%	1,588	2.3%	8,738	9.0%	11,837	3.9%
小計	134,528	100.0%	69,570	100.0%	97,011	100.0%	301,109	100.0%
団体図書	14,264	-	0	-	0	-	14,264	-
合計	148,792	-	69,570	-	97,011	-	315,373	-

資料：『平成29年度図書館要覧』※那珂湊図書館の行政資料は郷土資料に含む

B : 児童書

3館ともに9類の文学と絵本とで蔵書の60～70%程度を占めています。中央図書館は、一般書と同様に団体貸出用の団体図書を所蔵しています。

表 1-9 分類別蔵書冊数及び構成比 (児童書)

分類名	中央図書館		那珂湊図書館		佐野図書館		合計	
	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比
0:総記	520	0.9%	141	0.6%	471	1.3%	1,132	1.0%
1:哲学・宗教	570	1.0%	312	1.4%	418	1.2%	1,300	1.1%
2:歴史・地理	2,377	4.2%	943	4.1%	1,665	4.6%	4,985	4.3%
3:社会科学	2,517	4.4%	957	4.1%	2,062	5.7%	5,536	4.8%
4:自然科学	4,432	7.8%	1,431	6.2%	3,300	9.2%	9,163	7.9%
5:技術工学	1,711	3.0%	706	3.1%	1,396	3.9%	3,813	3.3%
6:産業	908	1.6%	451	2.0%	838	2.3%	2,197	1.9%
7:芸術	2,094	3.7%	865	3.7%	1,651	4.6%	4,610	4.0%
8:語学	680	1.2%	273	1.2%	536	1.5%	1,489	1.3%
9:文学	21,613	38.1%	8,736	37.8%	11,682	32.6%	42,031	36.3%
K:郷土資料	208	0.4%	93	0.4%	137	0.4%	438	0.4%
R:参考図書	706	1.2%	292	1.3%	503	1.4%	1,501	1.3%
E:絵本	18,240	32.2%	7,899	34.2%	11,191	31.2%	37,330	32.3%
M:マンガ	126	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	126	0.1%
T:点字本	0	0.0%	0	0.0%	32	0.1%	32	0.0%
小計	56,702	100.0%	23,099	100.0%	35,882	100.0%	115,683	100.0%
団体図書	29,447	-	0	-	0	-	29,447	-
合計	86,149	-	23,099	-	35,882	-	145,130	-

資料：『平成 29 年度図書館要覧』

C : 団体図書

中央図書館が所蔵する団体図書は蔵書冊数の18.6%を占めています。団体図書は主にコミュニティセンターなどに配本し、地域住民や施設利用者の閲覧・貸出に供するほか、学校やボランティア団体等に貸出を行っています。

表 1-10 団体図書の所蔵状況

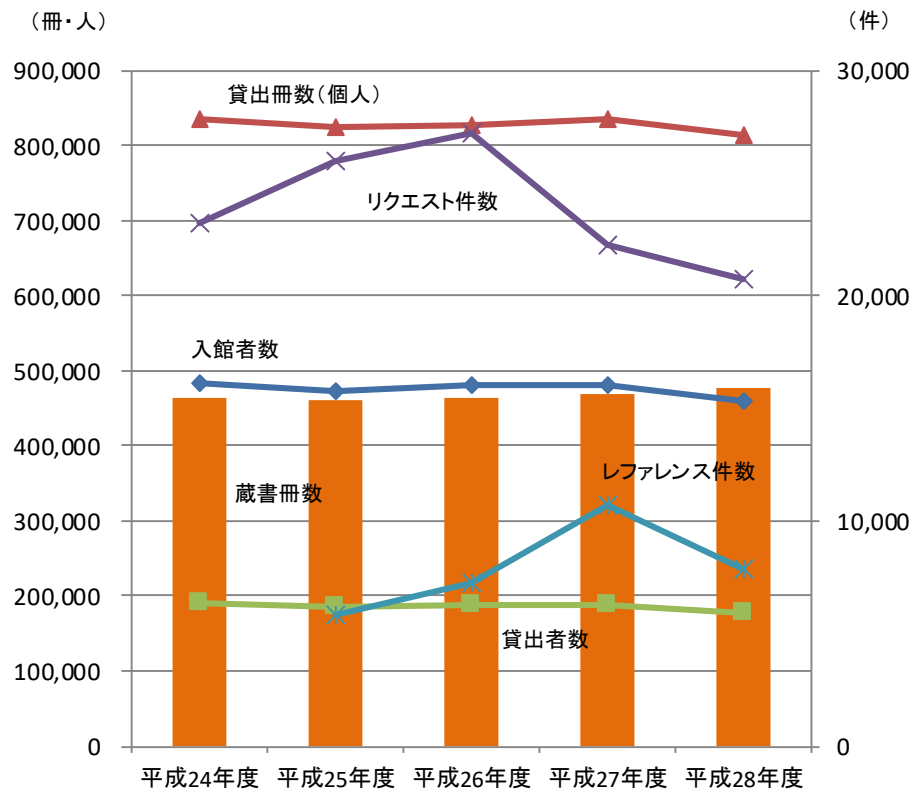
	蔵書冊数		貸出冊数	
	冊数	構成比	冊数	構成比
一般書・児童書	191,230	81.4%	388,919	99.7%
団体図書	43,711	18.6%	1,116	0.3%
合計	234,941	100.0%	390,035	100.0%

資料：『平成 29 年度図書館要覧』

(6) 利用状況

① 利用状況の推移

過去5年間の市立図書館の利用状況の推移をみると、入館者数は平成24年度の483,566人が最多で、その後はほぼ横ばいで推移し、平成28年度にやや減少しています。平成28年度は、図書館情報システム更新のための全館休館（平成29年2月23日～3月8日まで）により、開館日数が減少したため、利用が減少したものと考えられます。貸出者数は平成28年度を除き、横ばいで推移しています。個人貸出冊数は、一般書の減少傾向に対し、児童書の伸びがみられます。このことは平成24年1月の館外貸出冊数変更（図書・雑誌5冊以内から10冊以内へ変更）が要因のひとつにあるものと考えられます。レファレンス件数（利用者からの求めに応じて調査研究に必要な資料や情報を提供した件数）は、平成25年度から統計を取り始め、以降、増減はあるものの伸びがみられます。一方で、リクエスト件数（貸出中資料や他館所蔵資料、未所蔵資料への予約に対して、取り寄せや相互貸借、購入により対応した件数）は、平成26年度をピークに減少傾向にあります。



※リクエスト件数、レファレンス件数は右軸を参照

資料：『平成29年度図書館要覧』

図 1-4 市立図書館利用状況の推移

表 1-11 市立図書館利用状況の推移

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		指数		指数		指数		指数		指数
入館者数(人)	483,566	1.00	472,405	0.98	479,880	0.99	481,338	1.00	460,611	0.95
貸出者数(人)	191,391	1.00	186,302	0.97	187,877	0.98	187,638	0.98	178,040	0.93
一般	135,018	1.00	131,207	0.97	133,570	0.99	135,122	1.00	128,675	0.95
児童	56,373	1.00	55,095	0.98	54,307	0.96	52,516	0.93	49,365	0.88
新規登録者数(人)	2,687	1.00	2,661	0.99	2,560	0.95	2,588	0.96	2,415	0.90
一般	1,651	1.00	1,573	0.95	1,460	0.88	1,489	0.90	1,349	0.82
児童	1,036	1.00	1,088	1.05	1,100	1.06	1,099	1.06	1,066	1.03
貸出冊数-個人(冊)	834,027	1.00	823,060	0.99	827,557	0.99	835,522	1.00	813,284	0.98
一般書	403,952	1.00	385,594	0.95	383,612	0.95	382,087	0.95	362,308	0.90
児童書	377,024	1.00	388,364	1.03	393,112	1.04	402,918	1.07	401,148	1.06
雑誌	21,468	1.00	20,868	0.97	21,795	1.02	21,952	1.02	21,395	1.00
紙芝居	12,340	1.00	11,307	0.92	9,736	0.79	9,007	0.73	9,210	0.75
視聴覚資料	19,243	1.00	16,927	0.88	19,302	1.00	19,558	1.02	19,223	1.00
リクエスト件数(件)	23,239	1.00	25,987	1.12	27,173	1.17	22,199	0.96	20,702	0.89
レファレンス件数(件)	-	-	5,778	1.00	7,266	1.26	10,663	1.85	7,854	1.36
蔵書冊数(冊)	464,760	1.00	460,925	0.99	464,150	1.00	469,700	1.01	475,490	1.02
貸出者1人当たりの 貸出冊数(冊/人)	4.36	1.00	4.42	1.01	4.40	1.01	4.45	1.02	4.57	1.05

資料：『図書館要覧（平成25年度～29年度）』※レファレンス件数は平成25年度から統計開始

② 中央図書館の利用状況の推移

過去5年間の中央図書館利用状況の推移をみると、一般の入館者数、新規登録者数、貸出者数、一般書の貸出冊数ともに微減傾向にあります。一方で、児童の入館者数、新規登録者数、貸出者数、児童書の貸出冊数はいずれも増加傾向にあります。リクエスト件数は、平成26年度には平成24年度比で1.33倍となりましたが、平成28年度には0.97倍と落ち込んでいます。レファレンス件数は、統計を開始した平成25年度以降伸びがみられ、平成28年度には平成25年度比で2.35倍となっています。また、中央図書館のレファレンス件数は、市立図書館全体のレファレンス件数の約70%を占めています。

表 1-12 中央図書館利用状況の推移

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		指数		指数		指数		指数		指数
開館日数(日)	283	-	278	-	286	-	287	-	274	-
入館者数(人)	270,699	1.00	265,582	0.98	276,895	1.02	276,682	1.02	266,217	0.98
一般	183,025	1.00	174,131	0.95	184,188	1.01	180,321	0.99	169,807	0.93
児童	87,674	1.00	91,451	1.04	92,707	1.06	96,361	1.10	96,410	1.10
新規登録者数(人)	2,687	1.00	2,661	0.99	2,560	0.95	2,588	0.96	2,415	0.90
一般	1,651	1.00	1,573	0.95	1,460	0.88	1,489	0.90	1,349	0.82
児童	1,036	1.00	1,088	1.05	1,100	1.06	1,099	1.06	1,066	1.03
貸出者数(人)	94,012	1.00	91,647	0.97	95,014	1.01	95,577	1.02	93,775	1.00
一般	68,053	1.00	65,213	0.96	68,060	1.00	68,193	1.00	65,676	0.97
児童	25,959	1.00	26,434	1.02	26,954	1.04	27,384	1.05	28,099	1.08
貸出冊数-個人(冊)	392,255	1.00	390,113	0.99	403,490	1.03	410,890	1.05	412,656	1.05
一般書	191,290	1.00	180,262	0.94	185,122	0.97	183,985	0.96	180,309	0.94
児童書	171,916	1.00	183,554	1.07	190,935	1.11	198,237	1.15	203,251	1.18
雑誌	10,225	1.00	9,824	0.96	10,119	0.99	10,615	1.04	10,936	1.07
紙芝居	4,891	1.00	4,150	0.85	3,841	0.79	3,438	0.70	3,599	0.74
視聴覚資料	13,933	1.00	12,323	0.88	13,473	0.97	14,615	1.05	14,561	1.05
貸出冊数-団体(冊)	805	1.00	996	1.24	1,538	1.91	1,101	1.37	1,116	1.39
一般書	350	1.00	315	0.90	407	1.16	271	0.77	305	0.87
児童書	455	1.00	681	1.50	1,131	2.50	830	1.83	811	1.79
リクエスト件数(件)	11,152	1.00	13,142	1.18	14,798	1.33	10,745	0.96	10,789	0.97
レファレンス件数(件)	-	-	2,459	1.00	3,639	1.48	7,486	3.04	5,786	2.35
蔵書冊数(冊)	254,702	1.00	242,076	0.95	238,914	0.94	239,395	0.94	241,811	0.95
開館日1日当たり 入館者数(人/日)	957	1.00	955	1.00	968	1.01	964	1.01	972	1.02
開館日1日当たり 貸出者数(人/日)	332	1.00	330	0.99	332	1.00	333	1.00	342	1.03
開館日1日当たり 貸出冊数(冊/日)	1,386	1.00	1,403	1.01	1,411	1.02	1,432	1.03	1,506	1.09
貸出者1人当たり 貸出冊数(冊/人)	4.17	1.00	4.26	1.02	4.25	1.02	4.30	1.03	4.40	1.05

資料：『図書館要覧（平成25年度～29年度）』※レファレンス件数は平成25年度から統計開始

③ 年齢別貸出状況

市立図書館の年齢別貸出冊数と人口の平成25年度から平成27年度の変化をみると、人口は364人の微減に対し、貸出冊数は12,462冊の増加となっています。人口は男女ともに微減ですが、貸出冊数は年齢で差異はあるものの女性で伸びています。年齢別にみると、主として40歳以上の女性と60歳以上の男性の貸出冊数が伸びています。また、7歳から12歳の人口は減少していますが、貸出冊数は増加しています。一方で、13歳以降の中高生、若年層の貸出冊数は他の年齢層と比べて特に少なくなっています。

表 1-13 市立図書館年齢別貸出冊数と市人口の増減

	年齢 (歳)	平成25年度			平成27年度			平成27年度-平成25年度		
		貸出冊数 (冊)	人口 (人)	人口1人当 り貸出冊数 (冊/人)	貸出冊数 (冊)	人口 (人)	人口1人当 り貸出冊数 (冊/人)	貸出冊数 (冊)	人口 (人)	人口1人当 り貸出冊数 (冊/人)
男性	0～6	46,804	5,189	9.02	38,621	5,072	7.61	-8,183	-117	-1.41
	7～12	74,003	4,843	15.28	80,217	4,535	17.69	6,214	-308	2.41
	13～15	12,017	2,681	4.48	11,642	2,692	4.32	-375	11	-0.16
	16～18	2,809	2,545	1.10	4,941	2,556	1.93	2,132	11	0.83
	19～29	6,046	8,569	0.71	4,277	8,421	0.51	-1,769	-148	-0.20
	30～39	23,336	11,340	2.06	21,877	10,508	2.08	-1,459	-832	0.02
	40～49	35,785	12,852	2.78	35,326	13,287	2.66	-459	435	-0.13
	50～59	24,044	9,278	2.59	24,245	9,542	2.54	201	264	-0.05
	60～	84,717	21,135	4.01	89,200	21,581	4.13	4,483	446	0.12
	合計	309,561	78,432	3.95	310,346	78,194	3.97	785	-238	0.02
女性	0～6	45,352	4,990	9.09	43,329	4,818	8.99	-2,023	-172	-0.10
	7～12	102,256	4,778	21.40	105,051	4,566	23.01	2,795	-212	1.61
	13～15	10,630	2,550	4.17	10,043	2,515	3.99	-587	-35	-0.18
	16～18	4,239	2,393	1.77	3,750	2,482	1.51	-489	89	-0.26
	19～29	23,853	7,372	3.24	19,686	7,126	2.76	-4,167	-246	-0.47
	30～39	106,744	10,443	10.22	100,116	9,562	10.47	-6,628	-881	0.25
	40～49	104,676	11,674	8.97	110,804	12,149	9.12	6,128	475	0.15
	50～59	45,648	8,979	5.08	47,702	9,066	5.26	2,054	87	0.18
	60～	70,101	24,412	2.87	84,695	25,181	3.36	14,594	769	0.49
	合計	513,499	77,591	6.62	525,176	77,465	6.78	11,677	-126	0.16
合計	0～6	92,156	10,179	9.05	81,950	9,890	8.29	-10,206	-289	-0.77
	7～12	176,259	9,621	18.32	185,268	9,101	20.36	9,009	-520	2.04
	13～15	22,647	5,231	4.33	21,685	5,207	4.16	-962	-24	-0.16
	16～18	7,048	4,938	1.43	8,691	5,038	1.73	1,643	100	0.30
	19～29	29,899	15,941	1.88	23,963	15,547	1.54	-5,936	-394	-0.33
	30～39	130,080	21,783	5.97	121,993	20,070	6.08	-8,087	-1,713	0.11
	40～49	140,461	24,526	5.73	146,130	25,436	5.75	5,669	910	0.02
	50～59	69,692	18,257	3.82	71,947	18,608	3.87	2,255	351	0.05
	60～	154,818	45,547	3.40	173,895	46,762	3.72	19,077	1,215	0.32
	合計	823,060	156,023	5.28	835,522	155,659	5.37	12,462	-364	0.09

資料：『平成26年度図書館要覧』、『平成28年度図書館要覧』、『ひたちなか市の年齢別人口』※各年度とも4月1日現在の人口を使用

1-2 他自治体との整備水準の比較

(1) 類似団体（IV-2）14市との比較

① 中央館の比較

中央図書館は、類似団体(自治体を人口と産業構造の組合せによって類型化したもの) 15市の中央館と比較して、延床面積、蔵書冊数が最も少なくなっています。また、1日当たりの貸出冊数や、人口1人当たりの蔵書冊数、貸出冊数、予約件数、資料費は平均を下回っており、15市中11位～15位となっています。また、中央図書館の開館日数は287日で、類似団体15市平均の300日と比較して少なくなっています。

表 1-14 本市及び類似団体の中央館の整備水準

	館名	延床面積 (㎡)	人口 (人)	蔵書 (冊)	貸出 (冊)	予約 (件)	資料費 (千円)	開館 日数 (日)
1	ひたちなか市立中央図書館	1,868	159,480	234,365	418,304	12,280	16,139	287
2	磐田市立中央図書館	3,560	170,612	390,072	628,551	64,257	18,822	292
3	豊川市中央図書館	5,773	185,111	469,314	989,310	62,934	51,142	294
4	小牧市立図書館	2,224	153,744	323,206	543,467	47,309	47,993	341
5	日立市立記念図書館	3,384	188,938	432,239	424,480	67,312	19,591	335
6	足利市立図書館	3,142	153,178	329,591	247,187	-	10,856	-
7	小山市立中央図書館	5,199	165,842	432,773	610,380	76,462	23,471	290
8	安城市中央図書館	3,945	184,892	684,013	1,765,885	193,152	94,598	252
9	高岡市立中央図書館	3,384	175,719	357,845	521,794	52,302	28,500	342
10	西尾市立図書館	2,722	170,159	374,593	696,861	72,276	49,749	300
11	大垣市立図書館	4,358	162,847	366,338	716,688	83,386	28,710	287
12	栃木市栃木図書館	2,088	164,066	313,355	424,127	51,073	22,610	306
13	上田市立上田図書館	1,974	160,267	289,343	347,676	13,410	16,990	276
14	今治市立中央図書館	7,042	166,059	405,834	500,867	33,949	47,258	299
15	松阪市松阪図書館	2,772	168,682	264,626	550,175	39,121	29,900	305
	平均	3,562	168,640	377,834	625,717	62,087	33,755	300

	館名	1日当たり		人口1人当たり							
		貸出 (冊/日)	順位	蔵書 (冊/人)	順位	貸出 (冊/人)	順位	予約 (件/人)	順位	資料費 (円/人)	順位
1	ひたちなか市立中央図書館	1457.51	11	1.47	15	2.62	11	0.08	14	101.20	13
2	磐田市立中央図書館	2152.57	5	2.29	6	3.68	5	0.38	5	110.32	10
3	豊川市中央図書館	3365.00	2	2.54	3	5.34	2	0.34	7	276.28	4
4	小牧市立図書館	1593.74	9	2.10	10	3.53	7	0.31	9	312.16	1
5	日立市立記念図書館	1267.10	13	2.29	5	2.25	13	0.36	6	103.69	12
6	足利市立図書館	-	-	2.15	9	1.61	15	-	-	70.87	14
7	小山市立中央図書館	2104.76	6	2.61	2	3.68	6	0.46	3	141.53	8
8	安城市中央図書館	7007.48	1	3.70	1	9.55	1	1.04	1	-	-
9	高岡市立中央図書館	1525.71	10	2.04	11	2.97	10	0.30	10	162.19	7
10	西尾市立図書館	2322.87	4	2.20	8	4.10	4	0.42	4	292.37	2
11	大垣市立図書館	2497.17	3	2.25	7	4.40	3	0.51	2	176.30	6
12	栃木市栃木図書館	1386.04	12	1.91	12	2.59	12	0.31	8	137.81	9
13	上田市立上田図書館	1259.70	14	1.81	13	2.17	14	0.08	13	106.01	11
14	今治市立中央図書館	1675.14	8	2.44	4	3.02	9	0.20	12	284.59	3
15	松阪市松阪図書館	1803.85	7	1.57	14	3.26	8	0.23	11	177.26	5
	平均	2,244.19	-	2.22	-	3.65	-	0.36	-	175.18	-

資料：『日本の図書館 2016』※足利市立図書館の蔵書冊数，貸出冊数は『統計あしかが 2016 年（平成 28 年）版』，西尾市立図書館の蔵書冊数・貸出冊数は，西尾市年報『図書館のあゆみ』

② 市立図書館全体の比較

本市の人口1人当たりの貸出冊数及び資料費は、15市中7位及び8位と中位にありますが、いずれの数値も平均を下回っています。特に人口1人当たりの予約件数は、平均0.53冊に対して0.15冊と少なくなっています。

表 1-15 本市及び類似団体の整備水準

	自治体名	館数 (館)	人口 (人)	蔵書 (冊)	貸出 (冊)	予約 (件)	資料費 (千円)
1	ひたちなか市	4	159,480	466,398	842,936	23,734	37,236
2	磐田市	7	170,612	827,301	1,326,714	120,042	37,113
3	豊川市	6	185,111	659,620	1,268,436	74,232	54,224
4	小牧市	5	153,744	562,232	1,237,174	120,056	49,070
5	日立市	6	188,938	884,647	1,453,301	91,391	48,757
6	足利市	1	153,178	329,591	247,187	-	10,856
7	小山市	6	165,842	572,013	790,255	111,462	22,795
8	安城市	2	184,892	870,386	2,531,093	313,420	74,666
9	高岡市	6	175,719	607,829	764,304	65,041	32,108
10	西尾市	5	170,159	744,813	1,053,911	75,430	48,958
11	大垣市	3	162,847	442,978	716,688	83,386	36,900
12	栃木市	7	164,066	665,575	787,184	60,872	50,552
13	上田市	7	160,267	574,536	768,258	37,257	35,265
14	今治市	5	166,059	698,263	777,586	45,012	47,190
15	松阪市	2	168,682	390,881	828,493	48,916	30,556
	平均	4.8	168,640	619,804	1,026,235	90,732	41,083

	自治体名	人口1人当たり							
		蔵書 (冊/人)	順位	貸出 (冊/人)	順位	予約 (件/人)	順位	資料費 (円/人)	順位
1	ひたちなか市	2.92	12	5.29	7	0.15	14	233.48	8
2	磐田市	4.85	1	7.78	3	0.70	3	217.53	11
3	豊川市	3.56	9	6.85	5	0.40	8	292.93	4
4	小牧市	3.66	7	8.05	2	0.78	2	319.17	2
5	日立市	4.68	3	7.69	4	0.48	6	258.06	7
6	足利市	2.15	15	1.61	15	-	-	70.87	15
7	小山市	3.45	11	4.77	11	0.67	4	137.45	14
8	安城市	4.71	2	13.69	1	1.70	1	403.84	1
9	高岡市	3.46	10	4.35	14	0.37	10	182.72	12
10	西尾市	4.38	4	6.19	6	0.44	7	287.72	5
11	大垣市	2.72	13	4.40	13	0.51	5	226.59	9
12	栃木市	4.06	6	4.80	9	0.37	9	308.12	3
13	上田市	3.58	8	4.79	10	0.23	13	220.04	10
14	今治市	4.20	5	4.68	12	0.27	12	284.18	6
15	松阪市	2.32	14	4.91	8	0.29	11	181.15	13
	平均	3.65	-	5.99	-	0.53	-	241.59	-

資料：『日本の図書館 2016』※足利市立図書館の蔵書冊数、貸出冊数は『統計あじかが 2016年（平成28年）版』

(2) 茨城県内市 30 市との比較

① 中央館の比較

中央図書館の人口 1 人当たりの数値は、県内 31 市中蔵書冊数 28 位、貸出冊数 20 位、資料費 16 位で、いずれも低位にあります。中央図書館の延床面積は 1,868 m²で、県内市 31 市平均の 2,198 m²を下回っています。

表 1-16 本市及び県内市の中央館の整備水準

No.	館名	延床面積 (m ²)	人口 (人)	蔵書 (冊)	貸出 (冊)	資料費 (千円)	開館 日数 (日)	1日当たり		人口1人当たり					
								貸出 (冊/日)	順位	蔵書 (冊/人)	順位	貸出 (冊/人)	順位	資料費 (円/人)	順位
1	ひたちなか市立中央図書館	1,868	159,480	234,365	418,304	37,351	287	1,457.51	8	1.47	28	2.62	20	234.20	16
2	水戸市立中央図書館	2,918	273,046	475,586	128,506	55,985	288	446.20	23	1.74	26	0.47	31	205.04	19
3	つくば市立中央図書館	2,420	220,622	289,139	984,107	36,809	285	3,453.01	1	1.31	30	4.46	9	166.84	23
4	日立市立記念図書館	3,384	188,938	437,638	435,665	19,939	335	1,300.49	9	2.32	20	2.31	24	105.53	29
5	古河市古河図書館	604	145,214	128,559	124,181	3,879	331	375.17	26	0.89	31	0.86	30	26.71	31
6	土浦市立図書館	1,159	144,927	348,784	505,584	22,102	296	1,708.05	5	2.41	19	3.49	14	152.50	26
7	取手市立取手図書館	1,528	109,348	213,603	369,639	30,195	287	1,287.94	10	1.95	24	3.38	16	276.14	9
8	筑西市立中央図書館	4,673	108,789	233,631	309,908	26,398	317	977.63	14	2.15	23	2.85	19	242.65	15
9	神栖市立中央図書館	2,669	94,520	382,246	554,645	48,370	286	1,939.32	3	4.04	5	5.87	6	511.74	3
10	牛久市立中央図書館	2,659	84,378	300,905	606,538	22,246	331	1,832.44	4	3.57	10	7.19	4	263.65	13
11	龍ヶ崎市立中央図書館	1,643	79,125	253,497	346,365	20,594	341	1,015.73	13	3.20	12	4.38	11	260.27	14
12	笠間市立笠間図書館	2,779	78,557	200,553	477,372	33,000	296	1,612.74	7	2.55	17	6.08	5	420.08	6
13	石岡市立中央図書館	1,521	78,211	196,471	288,268	13,039	281	1,025.86	12	2.51	18	3.69	12	166.72	24
14	鹿嶋市立中央図書館	1,742	68,142	206,745	302,338	9,711	292	1,035.40	11	3.03	14	4.44	10	142.51	28
15	常総市立図書館	1,646	65,370	122,839	78,550	11,060	168	467.56	22	1.88	25	1.20	29	169.19	22
16	守谷中央図書館	3,523	64,894	399,489	809,738	32,500	280	2,891.92	2	6.16	1	12.48	1	500.82	4
17	坂東市立岩井図書館	1,832	56,429	130,681	139,233	13,149	290	480.11	21	2.32	21	2.47	22	233.02	18
18	那珂市立図書館	3,610	55,779	169,476	469,333	19,029	283	1,658.42	6	3.04	13	8.41	3	341.15	7
19	常陸太田市立図書館	1,619	55,495	237,748	177,910	9,007	302	589.11	19	4.28	4	3.21	18	162.30	25
20	小美玉市小川図書館	778	52,896	77,209	85,800	9,903	287	298.95	30	1.46	29	1.62	27	187.22	21
21	ゆき図書館	4,136	52,830	244,434	179,831	25,122	289	622.25	18	4.63	3	3.40	15	475.53	5
22	鉾田市立図書館	928	50,789	79,870	91,348	4,873	289	316.08	28	1.57	27	1.80	26	95.95	30
23	つくばみらい市立図書館	1,604	49,024	170,649	260,373	13,162	289	900.94	16	3.48	11	5.31	7	268.48	10
24	北茨城市立図書館	2,510	45,942	128,525	152,408	57,262	293	520.16	20	2.80	16	3.32	17	1246.40	1
25	下妻市立図書館	3,931	45,001	176,817	222,558	12,002	286	778.17	17	3.93	7	4.95	8	266.71	11
26	常陸大宮市立図書館情報館	1,918	44,708	179,983	109,211	10,422	293	372.73	27	4.03	6	2.44	23	233.11	17
27	稲敷市立図書館	1,585	44,242	158,318	109,411	14,313	268	408.25	24	3.58	8	2.47	21	323.52	8
28	かすみがうら市立図書館	1,127	43,575	127,310	90,063	6,443	292	308.43	29	2.92	15	2.07	25	147.86	27
29	行方市立図書館	946	37,299	84,258	59,522	9,859	286	208.12	31	2.26	22	1.60	28	264.32	12
30	高萩市立図書館	1,313	30,421	108,500	109,678	5,765	286	383.49	25	3.57	9	3.61	13	189.51	20
31	潮来市立図書館	3,556	29,441	177,514	318,181	15,333	339	938.59	15	6.03	2	10.81	2	520.80	2
	平均	2,198	85,724	215,334	300,470	20,930	293	1,019.70	-	2.94	-	3.97	-	283.89	-

資料：『平成 28 年度茨城の図書館』※人口は『日本の図書館 2016』

② 市立図書館全体の比較

本市の人口1人当たりの数値は、県内31市中蔵書冊数22位、貸出冊数10位、予約件数17位、資料費17位となっており、貸出冊数は平均を上回っていますが、蔵書冊数や予約件数、資料費は平均を下回っています。

表 1-17 本市及び県内市の整備水準

No.	自治体名	館数 (館)	人口 (人)	蔵書 (冊)	貸出 (冊)	予約 (件)	資料費 (千円)	人口1人当たり							
								蔵書 (冊/人)	順位	貸出 (冊/人)	順位	予約 (件/人)	順位	資料費 (円/人)	順位
1	ひたちなか市	4	159,480	461,090	835,522	23,734	37,351	2.89	22	5.24	10	0.15	17	234.20	17
2	水戸市	6	273,046	1,002,169	1,245,598	147,270	55,985	3.67	12	4.56	12	0.54	6	205.04	20
3	つくば市	1	220,622	289,139	984,107	101,666	36,809	1.31	31	4.46	13	0.46	9	166.84	24
4	日立市	4	188,938	749,594	1,424,354	91,391	45,508	3.97	9	7.54	5	0.48	8	240.86	16
5	古河市	2	145,214	272,836	301,781	10,074	14,876	1.88	29	2.08	27	0.07	25	102.44	30
6	土浦市	1	144,927	348,784	505,584	78,922	22,102	2.41	26	3.49	20	0.54	5	152.50	27
7	取手市	2	109,348	347,601	629,914	156,317	30,195	3.18	18	5.76	8	1.43	2	276.14	9
8	筑西市	2	108,789	351,470	404,736	17,137	26,398	3.23	16	3.72	16	0.16	16	242.65	15
9	神栖市	2	94,520	488,227	700,662	46,338	48,370	5.17	4	7.41	6	0.49	7	511.74	3
10	牛久市	1	84,378	300,905	606,538	77,554	22,246	3.57	14	7.19	7	0.92	4	263.65	13
11	龍ヶ崎市	1	79,125	253,497	346,365	29,110	20,594	3.20	17	4.38	15	0.37	10	260.27	14
12	笠間市	3	78,557	530,264	1,158,514	102,497	33,000	6.75	1	14.75	1	1.30	3	420.08	6
13	石岡市	1	78,211	196,471	288,268	6,141	13,039	2.51	24	3.69	17	0.08	23	166.72	25
14	鹿嶋市	1	68,142	206,745	302,338	12,511	9,711	3.03	20	4.44	14	0.18	12	142.51	29
15	常総市	1	65,370	122,839	78,550	10,983	11,060	1.88	28	1.20	31	0.17	14	169.19	23
16	守谷市	1	64,894	399,489	809,738	178,335	32,500	6.16	2	12.48	2	2.75	1	500.82	4
17	坂東市	2	56,429	248,827	199,410	4,000	13,149	4.41	6	3.53	19	0.07	24	233.02	19
18	那珂市	1	55,779	169,476	469,333	6,829	19,029	3.04	19	8.41	4	0.12	20	341.15	7
19	常陸太田市	1	55,495	237,748	177,910	14,488	9,007	4.28	7	3.21	23	0.26	11	162.30	26
20	小美玉市	2	52,896	131,024	117,147	8,784	9,903	2.48	25	2.21	26	0.17	15	187.22	22
21	結城市	1	52,830	244,434	179,831	5,985	25,122	4.63	5	3.40	21	0.11	21	475.53	5
22	鉾田市	1	50,789	84,914	91,348	2,506	4,873	1.67	30	1.80	29	0.05	27	95.95	31
23	つくばみらい市	1	49,024	174,422	260,373	8,868	13,162	3.56	15	5.31	9	0.18	13	268.48	10
24	北茨城市	1	45,942	128,525	152,408	5,940	57,262	2.80	23	3.32	22	0.13	19	1,246.40	1
25	下妻市	1	45,001	176,817	222,558	2,198	12,002	3.93	10	4.95	11	0.05	28	266.71	11
26	常陸大宮市	1	44,708	179,983	109,211	1,991	10,422	4.03	8	2.44	25	0.04	30	233.11	18
27	稲敷市	1	44,242	167,050	109,411	4,080	14,313	3.78	11	2.47	24	0.09	22	323.52	8
28	かすみがうら市	1	43,575	131,399	90,063	1,991	6,443	3.02	21	2.07	28	0.05	29	147.86	28
29	行方市	1	37,299	88,904	59,522	487	9,859	2.38	27	1.60	30	0.01	31	264.32	12
30	高萩市	1	30,421	108,500	109,678	1,572	5,765	3.57	13	3.61	18	0.05	26	189.51	21
31	潮来市	1	29,441	177,514	318,181	4,303	15,333	6.03	3	10.81	3	0.15	18	520.80	2
平均		1.6	85,724	282,924	428,676	37,548	22,109	3.50	-	4.89	-	0.38	-	290.69	-

資料:『平成28年度茨城の図書館』※ひたちなか市の館数、人口、予約件数は『日本の図書館2016』

2-1 ひたちなか市の概要

(1) 地理

本市は、東京から約 110km 圏、茨城県の中央部からやや北東に位置し、県都水戸市に接します。北関東自動車道の全線開通や茨城港常陸那珂港区の整備により北関東の物流拠点へ飛躍を遂げました。



図 2-1 本市の位置

(2) 歴史

本市は古い歴史を持ち、先土器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺跡が市内に広く分布しています。江戸時代には、水戸藩の支配の下、東北地方の物資を江戸に輸送する水上交通の主要な中継港を有する要地として栄えるとともに、大砲を铸造する反射炉が建設されるなど海防の面でも重要な役割を果たしました。昭和 29 年に勝田市、那珂湊市が誕生し、勝田市は工業団地の開発によりものづくりを核とする産業が発展、那珂湊市は県下随一の水産都市として発展しました。平成 3 年 10 月に国営ひたち海浜公園が一部開園し、平成 6 年に勝田市と那珂湊市が合併し「ひたちなか市」が誕生しました。



資料：『ひたちなか市第 3 次総合計画』

図 2-2 本市の様子

(3) 人口

① 人口

本市の平成 27 年度の常住人口は 155,689 人で、自然動態、社会動態ともに減少していることから減少傾向にあります。また、世帯数は増加、世帯当たり人数は減少しています。現在の人口減少率が比較的低いことから、将来人口は平成 42 年頃までは漸減傾向ですが、その後は減少傾向が強まることが見込まれます。今後の年齢 3 区分人口割合は、年少人口割合がやや低下して横ばい、生産年齢人口割合が低下、老年人口割合が上昇するものと見込まれています。

本市の常住人口を県内主要都市と比較すると、つくば市に次いで年少人口割合が高く、老年人口割合が低くなっています。

表 2-1 人口の推移

区分	実績値			推計値			
	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成42年	平成52年	平成62年
人口(人)	153,639	157,061	155,689	155,957	152,278	146,456	138,595
世帯数(世帯)	56,319	60,268	61,196	—	—	—	—
世帯当たり人数(人/世帯)	2.73	2.61	2.54	—	—	—	—
年齢3区分 人口割合 (%)	年少人口(0~14歳)	16.2	15.5	14.2	13.1	12.4	13.2
	生産年齢人口(15~64歳)	67.0	64.2	61.9	60.8	58.5	49.3
	老年人口(65歳以上)	16.8	20.3	23.9	26.1	29.1	35.4

資料：『国勢調査』（平成 17～27 年），『ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略』（平成 32～62 年）

表 2-2 人口動態の推移

(単位:人)

区分	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年
人口	155,184	156,651	157,141	156,964	155,689
年中の増減	628	845	△ 228	△ 531	△ 108
自然動態	472	281	163	△ 72	△ 72
出生	1,564	1,503	1,447	1,331	1,274
死亡	1,092	1,222	1,284	1,403	1,346
社会動態	156	564	△ 391	△ 459	△ 36
転入	6,393	6,119	5,356	5,335	5,558
転出	6,237	5,555	5,747	5,794	5,594

資料：『ひたちなか市の人口と世帯数（常住人口）』（各年 9 月末日現在）

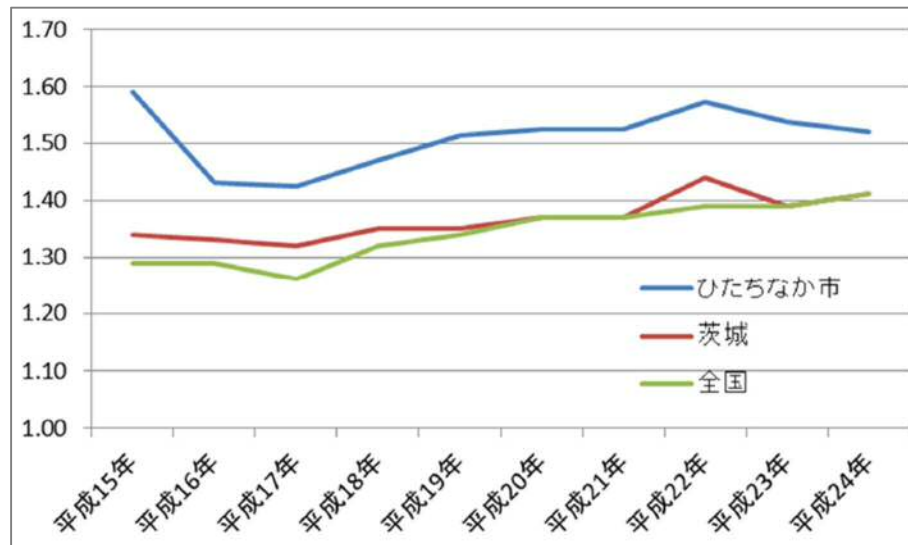
表 2-3 現況の県内主要都市の人口

市名	人口		人口増加率 (平成28年/平成23年)			年齢3区分人口比率(%)		
	H28人口 (人)	県内32市 中順位	H23人口 (人)	増加率 (%)	県内32市 中順位	年少 (0~14歳)	生産年齢 (15~64歳)	老年 (65歳以上)
ひたちなか市	155,884	4	157,141	99.2%	9	14.2	61.9	23.9
水戸市	271,047	1	269,025	100.8%	6	13.2	61.7	25.1
日立市	182,905	3	191,422	95.6%	24	11.8	58.9	29.4
土浦市	140,226	6	143,460	97.7%	12	12.4	60.8	26.8
古河市	140,509	5	142,435	98.6%	11	12.5	61.9	25.6
つくば市	230,398	2	215,887	106.7%	2	14.8	65.9	19.3
県内市平均	82,509	—	83,630	98.7%	—	12.6	60.6	26.8

資料：『茨城県の人口と世帯（推計）』（各年 10 月 1 日現在）※年齢 3 区分人口比率は『国勢調査』（平成 27 年）

② 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率は、県・国より高い傾向が続いており、平成24年は1.52と県・国より約0.1ポイント高くなっています。



資料：『ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略』

図 2-3 合計特殊出生率の推移

2-2 産業

(1) 産業分類別就業人口及び構成比（15歳以上）

本市では、第1次産業及び第2次産業就業人口の割合の減少傾向、第3次産業就業人口の割合の増加傾向が続いています。

表 2-4 産業分類別就業人口及び構成比（15歳以上）の推移

区分	平成2年		平成12年		平成22年	
	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)
第1次産業	3,692	5.2	2,518	3.3	1,838	2.5
内農業	3,328	4.7	2,367	3.1	1,732	2.4
内漁業	354	0.5	146	0.2	95	0.1
第2次産業	29,460	41.3	27,637	36.4	21,934	30.0
内建設業	5,269	7.4	6,708	8.8	4,880	6.7
内製造業	24,178	33.9	20,918	27.6	17,047	23.3
第3次産業	37,949	53.2	45,340	59.8	46,665	63.9
分類不能	271	0.4	393	0.5	2,652	3.6
合計	71,372	—	75,888	—	73,089	—

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

(2) 農業

本市では、「ほしいも」が特産品として需要が拡大している一方で、総農家数、農業就業人口、経営耕地面積は減少しています。

表 2-5 農業関連指標の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年
総農家数(戸)	2,060	1,896	1,699
指数	1.00	0.92	0.82
農業就業人口(人)	2,762	2,361	1,872
指数	1.00	0.85	0.68
経営耕地面積(a)	193,632	161,994	139,053
指数	1.00	0.84	0.72

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

(3) 漁業

本市では、漁業経営体数、就業者数、漁船数とも、減少傾向にありましたが、平成25年に歯止めがかかった状況がみられます。漁業者などの経営基盤の弱体化などの問題も抱えていますが、日本一の生産量を誇るタコの加工品などにおける6次産業化を進めることで、水産業の維持・発展を図っています。

表 2-6 漁業関連指標の推移

区分	平成15年	平成20年	平成25年
漁業経営体数(経営体)	87	60	70
指数	1.00	0.69	0.80
就業者数(人)	154	98	115
指数	1.00	0.64	0.75
漁船数(隻)	89	70	78
指数	1.00	0.79	0.88

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

(4) 工業

本市は、勝田地域は電機、機械、精密機械、紙製品などの工業、那珂湊地域は水産加工工業を主体とした食品製造関係水産業を基幹として発達しました。その後常陸那珂工業団地などへの先進企業立地が進み、県内有数(従業者数第2位、製造品出荷額等第3位)の工業都市となり、従業者数300人以上の事業所数割合が6.1%と県内主要都市の中では最も高くなっています。しかし、近年は事業所数、従業者数、製造品出荷額等とも減少傾向が続いており、産業活性化コーディネーターの配置による支援体制の充実や、ひたちなかテクノセンター、工業技術センター、茨城工業高等専門学校や金融機関などによる産学官金連携を進めることで、企業の競争力の強化を図っています。

表 2-7 現況の県内主要都市の工業関連指標

市名	事業所数(所)		従業者規模別事業所数						従業者数(人)		製造品出荷額等(万円)	
			300人以上	30~299人	4~29人	300人以上	30~299人	4~29人				
	県内32市中順位	実数(所)	構成比(%)			県内32市中順位	県内32市中順位					
ひたちなか市	213	7	13	45	155	6.1	21.1	72.8	19,255	2	88,012,713	3
水戸市	227	5	4	41	182	1.8	18.1	80.2	6,284	17	12,966,171	23
日立市	380	1	13	81	286	3.4	21.3	75.3	23,821	1	99,381,857	2
土浦市	157	12	9	39	109	5.7	24.8	69.4	13,814	4	60,662,491	7
古河市	359	2	6	85	268	1.7	23.7	74.7	15,931	3	71,298,153	5
つくば市	155	13	6	39	110	3.9	25.2	71.0	8,287	8	27,470,693	10

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

表 2-8 本市の工業関連指標の推移

区分	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年
事業所数(所)	268	238	224	213
指数	1.00	0.89	0.84	0.79
従業者数(人)	22,450	20,928	20,628	19,255
指数	1.00	0.93	0.92	0.86
製造品出荷額等(万円)	100,161,898	92,514,386	95,780,252	88,012,713
指数	1.00	0.92	0.96	0.88

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

(5) 商業

本市の事業所数、従業者数、年間販売額ともに、県内主要都市中で低位にあります。また、大規模小売店舗の集積により商圈の地元吸収力が增大している一方で、駅前商店街などが衰退傾向にあることから、商工会議所が中心となって「ひたちなかまちづくり会社」を設立し、イベントなどを開催することで、商店街の賑わいの創出を図っています。

表 2-9 現況の県内主要都市の商業関連指標

市名	事業所数(所)		従業者数(人)		年間販売額(百万円)	
		県内32市中順位		県内32市中順位		県内32市中順位
ひたちなか市	1,154	6	9,348	4	296,205	5
水戸市	2,652	1	24,320	1	1,424,753	1
日立市	1,328	4	9,184	5	318,704	4
土浦市	1,369	3	10,900	3	466,083	3
古河市	1,182	5	7,958	6	210,669	7
つくば市	1,652	2	14,030	2	730,312	2

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

表 2-10 本市の商業関連指標の推移

区分	平成11年	平成14年	平成19年	平成26年
商店数(店)	1,912	1,730	1,534	1,154
指数	1.00	0.90	0.80	0.60
売場面積(m ²)	211,065	213,167	230,697	237,473
指数	1.00	1.01	1.09	1.13
従業者数(人)	13,596	12,488	11,614	9,348
指数	1.00	0.92	0.85	0.69
年間販売額(百万円)	444,110	361,945	358,909	296,205
指数	1.00	0.81	0.81	0.67

資料：『統計ひたちなか（平成28年版）』

(6) 観光

本市では、外国人を含む年間 200 万人の集客を誇る国営ひたち海浜公園の入園者数の増加を主要因として、観光入込客数は増加傾向を続けています。また、下表に示す虎塚古墳などの歴史資源のほか、海水浴場や那珂湊おさかな市場といった観光資源も有しています。

表 2-11 観光者数等の推移

区分		平成24年	平成26年	平成28年
観光レクリエーション入込状況(人)		2,411,200	3,431,500	3,787,200
	指数	1.00	1.42	1.57
入園者数等(人)	国営ひたち海浜公園	1,197,158	1,760,520	2,070,668
	指数	1.00	1.47	1.73
	虎塚古墳一般公開	2,859	2,338	3,386
	指数	1.00	0.82	1.18
	武田氏館	—	2,881	2,416
	指数	—	1.00	0.84
	埋蔵文化財センター	—	6,674	6,762
	指数	—	1.00	1.01

資料：『統計ひたちなか（平成 28 年版）』

2-3 まちづくり・教育の方向性と新中央図書館の位置づけ

(1) まちづくりの総合的な方向性

ひたちなか市第3次総合計画，ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略から本市のまちづくりの総合的な方向性を整理すると，以下の通りとなります。安全・安心，賑わい創出，健康づくり，子どもの成長，市民協働などを重視しており，新中央図書館においても関連した取り組みを関連機関との連携や役割分担を踏まえて展開することが必要と考えられます。

◆ 基本的な考え方

- ・市の地理的特性を活かして産業を活性化し，働く場を確保
- ・人々が絆で結ばれ観光・教育・文化・スポーツ等様々な分野で交流を創出
- ・子どもたちが健やかに暮らせる自立と協働による計画的なまちづくり

◆ 方向性

① 災害に強く 安全安心に暮らせるまち

- ・関係機関と連携した防災体制の強化
- ・原子力アドバイザーと連携した原子力対策

② 多様な産業が発展し にぎわいあふれるまち

- ・企業立地等雇用の場創出による職住近接
- ・ひたちなかテクノセンターや産学官連携による工業技術向上と中小企業の安定化
- ・コミュニティ交流サロンやまちづくり会社と連携した商業の活性化と商店街の賑わい創出
- ・農業後継者や新規就農者の育成，ほしいものブランド化，水産業の6次産業化推進
- ・観光ネットワークづくりとボランティア育成

③ とともに支えあい 未永く健やかに暮らせるまち

- ・地域福祉団体等の育成
- ・ひたちなか総合病院と連携した健康づくりや医療・疾病予防対策

④ 子どもたちがのびのび成長し 豊かな人間性が育まれるまち

- ・子育て中の親子交流の場拡充や幼少期の保育・教育の充実による子育て支援
- ・地域と連携を深めた特色ある学校づくり
- ・茨城工業高等専門学校との幅広い分野の連携
- ・市民大学等による生涯学習機会の拡大
- ・歴史的資源の保護と活用

⑤ やすらぎと潤いにあふれ 快適に暮らせるまち

- ・ひたちなか総合病院を核としたまちづくり
- ・都市機能の再編・集約による子育て支援などの新たなニーズに即した機能の導入，まちづくり会社との役割分担を通じた中心市街地のまちづくり

⑥ 市民とともに歩む 人と人がつながるまち

- ・市民協働まちづくりと市民活動支援
- ・交流人口の拡大

(2) 中心市街地整備の方向性

ひたちなか市第2次都市計画マスタープラン、都市再生整備計画（ひたちなか市中央地区）、ひたちなか市公共施設等総合管理計画から、まちづくりのうち特に中心市街地整備に係る方向性を整理すると、以下の通りとなります。本市の機能集約、賑わい創出、まちなか居住、潤いなどを重視しており、新中央図書館においても魅力ある中心市街地の形成に資する取り組みが必要となっています。

◆ 施設の集約化

- ・商業、医療、福祉等の諸機能の施設の集約化と周辺道路等のバリアフリー化の促進
- ・子育て支援の拠点、生涯学習センター、青少年センターの機能の集約による新たな子育て支援・多世代交流施設の配備

◆ 賑わいの創出

- ・通行客の中心市街地の回遊による市街地の賑わいの創出
- ・商工会議所等との連携による商店街の活性化
- ・公共交通体系の整備、周辺地域から中心市街地への交通動線の強化等による勝田駅周辺の賑わいの再興

◆ ひたちなか総合病院を核としたまちなか居住の推進

- ・介護・福祉等の機能を有する施設の誘致等と併せたひたちなか総合病院を核としたまちづくりの推進

◆ 潤いとゆとりあるまちづくり

- ・公園の整備、市街地の緑化等の推進による魅力ある都市景観の実現



(3) 教育の方向性

ひたちなか市学校教育振興基本計画、ひたちなか市第2次子ども読書活動推進計画から教育や読書活動に関する本市の方向性を整理すると以下の通りとなります。確かな学力・生き抜く力・豊かな心・ふるさとを愛する心の育成，子どもの読書活動の推進などを重視しており，新中央図書館においても，幼児期からの読書活動の推進に資する取り組みが必要です。

◆確かな学力と生き抜く力の育成

- ・体験的な学習活動や作業的な学習活動を通じた生き抜く力の育成
- ・子どものわかる喜びを生み出す教職員研修の充実

◆生きる喜びを生み出す豊かな心の育成

- ・学校関係者が一体となった“感動や笑顔”が広がる学びの場の実現
- ・人や自然，芸術や文化，産業等との豊かな関わりを通じた生きる喜びの実感

◆ふるさとを愛する心の育成

- ・郷土の歴史やゆかりの人物に関するデジタルコンテンツも含めた教材化と活用
- ・虎塚古墳等の市内の文化財を活用した郷土の歴史への関心と理解の向上

◆子どもの読書活動の推進

- ・市立図書館におけるおはなし会や子ども向け講座の開催，読み聞かせボランティアの育成
- ・読書に親しむ機会の提供，読書に関わる環境の整備，学校図書館における読書活動の充実による子どもの発達段階に応じた読書活動の推進

3-1 中央図書館の課題

(1) 資料面での課題

中央図書館は、築後43年が経過していることなどから資料の収蔵能力が限界に達しており、他自治体と比較しても蔵書冊数、資料費の水準が低くなっています。今後は、市民の読書・学習意欲を満たすことのできるような中央館として十分な量・質の蔵書の充実が必要です。

また、現在の蔵書構成は、一般書が61.6%、児童書が35.7%、その他資料が2.7%であるのに対し、利用実績では児童書が約50%を占めています。今後は、総合的・網羅的な蔵書構築を行う一方で、利用実態や市民ニーズの変化などを踏まえた資料の充実が望まれます。併せて、時代の変化に対応した多様な媒体での資料提供の検討も必要です。

(2) 施設面での課題

中央図書館では施設の老朽化が進んでおり、施設・設備に不具合が生じるなど、快適な読書・学習環境とはいええない状況もみられます。また、(1)で示した通り蔵書収蔵能力が限界であることや、他自治体の中央館と比較して規模が小さいことから施設内の手狭な状況を招いており、閲覧スペースや休憩スペースの不足の他、ロビーでの話し声が館内に響くといった音の問題を抱えています。その他、通路の拡幅や自動ドアの設置などのバリアフリー化対応も進めていますが、エレベーターは未整備となっています。今後は、市民の多様な利用形態に対応した居心地の良い環境を提供するとともに、市民の誰もが気軽に利用できる施設・設備の整備が必要です。

(3) サービス面での課題

中央図書館では、貸出や新規登録などの利用が微減傾向となっており、他自治体の中央館と比較しても利用が少なくなっています。そして、その一方ではレファレンス件数に増加もみられます。今後は、市民の多様なライフスタイルや他自治体の開館時間・日数などを踏まえた開館時間・日数の設定など、利用者利便性のさらなる向上に資するサービスの検討が必要です。併せて、市民の自主的な学びを支援し、日々の暮らしの中の疑問の解決を支援するサービスの充実も必要です。

また、現在は若年層の利用が少なく減少傾向にあることから、将来的な利用者にもなりうる児童の継続的な読書習慣の形成や中高生の読書・図書館利用意欲の喚起に資するサービス、成人を対象とした多様なサービスの展開といった取り組みが必要です。

(4) まちづくり面での課題

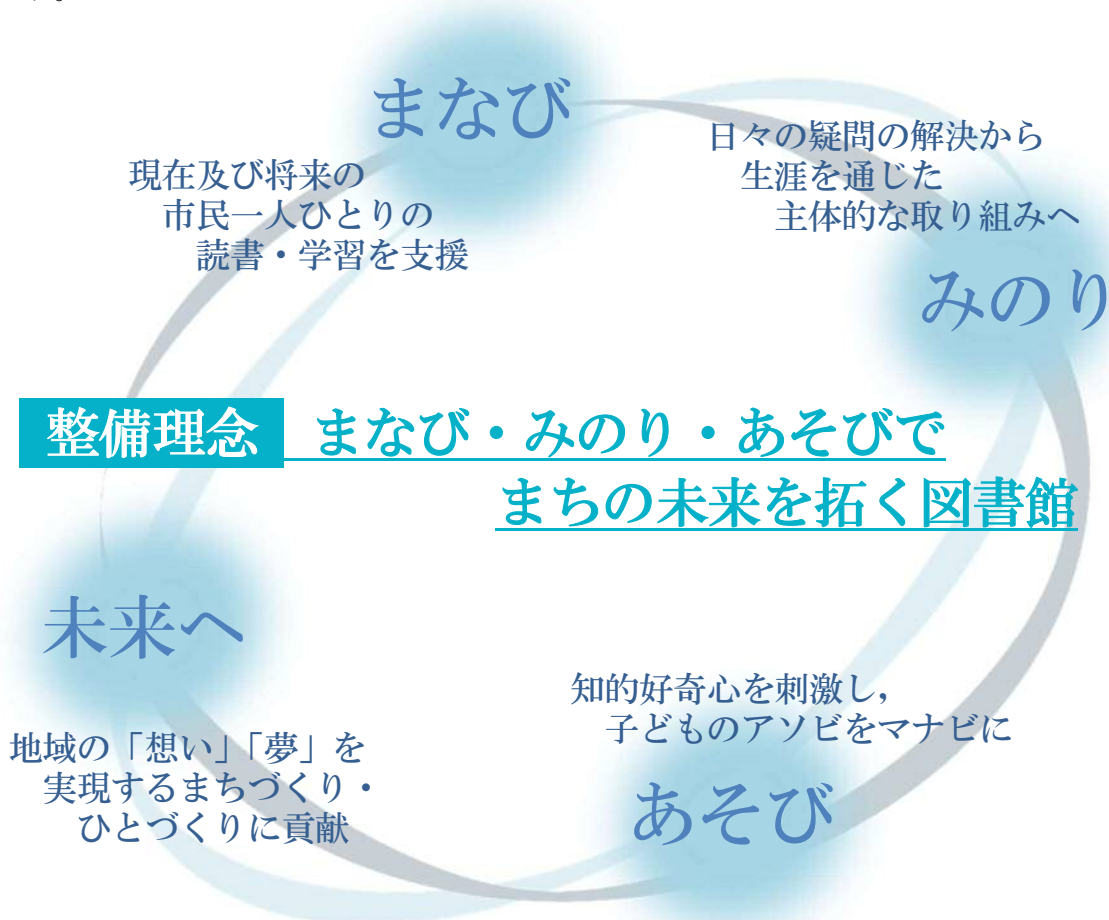
本市の施策では、産業振興、健康、子育て、中心市街地活性化、市民協働などを重視していることなどを踏まえ、今後は、市内関連機関と連携し、まちづくりやまちの抱える課題の解決に資する資料・情報の充実を図っていくことが必要となります。特に子育て支援に関しては、平成 29 年 10 月に子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」を設置したことから、適切な役割分担と連携を図る必要があります。併せて、中央図書館で活躍する多くのボランティアを含む市民が集う場、市民協働の場としての役割を深めるとともに、市内外から人が集う場となることが求められます。

また、教育において「ふるさとを愛する心」の育成なども重視していることから、中央図書館で郷土資料の蔵書冊数が多いことなどを活かし、市民がまちの歴史や文化を知り、愛着を持つきっかけを提供することも求められます。

3-2 新中央図書館の整備理念等あるべき姿

新中央図書館では、市民一人ひとりの知的好奇心や学習意欲に応えるための機能の充実を図るとともに、産業振興，子育て支援，定住促進，コミュニティ再生といったまちの課題の解決に貢献し，次世代のまちづくりへとつなげていくことを目指して，整備理念を「まなび・みのり・あそびでまちの未来を拓く図書館」とします。

また，整備理念の実現を図るため，「まなび」，「みのり」，「あそび」，「未来へ」のそれぞれをキーワードとした整備方針を「3-3 新中央図書館の整備方針」に示す通り設定します。



3-3 新中央図書館の整備方針

(1) 整備方針1「まなび」：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援

高度・多様化する市民ニーズに対応するため，中央館として十分な量の蔵書，新鮮かつ豊富でバランスの取れた蔵書の収集・提供に努めるとともに，十分な収蔵能力の確保を図ります。また，ゆっくりと本や雑誌を読む，静かに学習をする，友人同士で議論をするなど，市民一人ひとりの図書館利用ニーズに対応した空間づくり，ユニバーサルデザインの考えに基づく空間づくりに配慮します。その他，ICタグやタブレット端末，スマートフォンを活用したシステムといった最新のICT技術などの活用により，利用者利便性の向上，資料管理の効率化を検討します。

(2) 整備方針2「みのり」: 日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ

日々の暮らしや仕事の中で生じる疑問を市民が自ら解決することを支援するため、関連機関との連携を深め、市民からの相談に適切かつ迅速に対応することのできるレファレンスサービスの展開を目指します。また、市民が生涯に亘って生涯学習を継続し、その成果を日々の暮らしに活かすことを支援するため、中高生のキャリア教育、子育て世代の支援、高齢者の生きがいづくりといった、ライフステージや年代に応じて必要とされるサービスへのきめ細やかな対応に努めます。さらに、市民の図書館利用を誘導する適切な開館時間・開館日数について検討します。

(3) 整備方針3「あそび」: 知的好奇心を刺激し、子どものアソビをマナビに

就学期以降の子どもたちが遊びの延長で本や読書に触れることのできるよう、知的好奇心を刺激する体験型の講座、手軽に読書することのできる仕掛けなどの充実を図ります。さらに、子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」などと連携し、絵本から読み物へ、読み聞かせからひとり読みへのスムーズな移行を支援し、就学前後の子どもの主体的な読書習慣の形成を目指します。また、読書離れの進みがちな中高生の利用促進に向け、自主的な学習・活動や友人同士での会話などを通じて知識やアイデアを深めることのできる知的な遊び場として、学習・教養まんがの充実、知育ゲームの導入などによるティーンズコーナーの充実を図ります。

(4) 整備方針4「未来へ」: 地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献

郷土資料やロック・イン・ジャパン・フェスティバル関連資料など、ひたちなか市らしさを感じることで資料の提供や、本市の有する資源や歴史・文化などを広く市内外へとアピールするための観光関連情報の提供に努めます。また、競争力ある産業・企業の育成、子育て世代の定住促進・きずなづくり支援、心身ともに健康なまちづくりの推進に資するサービスの提供を図ります。さらに、市民が集い、豊かな時間を過ごす場、図書館サポーターなどの市民参画の場と機会を提供するほか、地域活動団体などとの連携、世代間・異文化間交流促進にも努めます。

4-1 蔵書規模の検討

(1) 収蔵冊数の検討

① 望ましい基準に基づく必要規模の検討

「[平成 24 年文部科学省告示第 172 号] 図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き」では、各図書館がサービス計画などを検討する際の参考にすべき「目標基準例（全国の市町村のうち各人口段階で貸出密度（住民 1 人当たりの貸出利用数）上位 10% の市町村の平均数値）」が公表されています。平成 29 年 3 月末の本市の住民基本台帳人口を基準とすると、この数値目標を踏まえた本市全体での蔵書の必要規模は約 682 千冊となり、そこから那珂湊図書館・佐野図書館の 2 館の蔵書冊数を除くと、新中央図書館の蔵書の必要規模は、約 454 千冊となります（表 4-1 参照）。

表 4-1 目標基準例（人口段階 15～20 万人・貸出密度上位 10%自治体平均値）を踏まえた必要規模

番号	区分	人口(人)	蔵書(冊)
①	望ましい基準目標基準例 ～20万人	175,034	748,847
	人口1人当たり	—	4.3
②	ひたちなか市全体での必要規模	159,326	681,643
	那珂湊図書館		94,556
	佐野図書館		132,893
	那珂湊・佐野図書館計		227,449
③	新中央図書館必要規模		454,194
	中央図書館(参考)		234,941

資料：人口はひたちなか市平成 29 年 3 月末住民基本台帳人口、各館の蔵書数は『平成 29 年度図書館要覧』

② 他自治体中央館整備水準に基づく必要規模の検討

他自治体の図書館整備水準を踏まえた検討は、地域館の数や規模に関わらず中央館は自治体全人口を対象とした規模を有するとの考えのもと、類似団体で本市と同じ類型（IV-2）に属する自治体 14 市の中央館整備水準と、県内市 30 市の中央館整備水準を踏まえた検討の 2 パターンの検討を行いました。

検討では、上記のそれぞれについて、平成 9 年 11 月以降に竣工した中央館（築年数 20 年未満）の人口 1 人当たり蔵書冊数の平均値を算出し、本市の人口に乗じて新中央図書館の蔵書の必要規模としました。類似団体 14 市の中央館のうち築年数 20 年未満のものは 3 館で、人口 1 人当たり蔵書冊数の平均値は 2.7571 冊/人となります（表 4-2 参照）。県内市 30 市の中央館のうち築年数 20 年未満のものは 8 館で、人口 1 人当たりの蔵書冊数の平均値は 3.5054 冊/人となります（表 4-3 参照）。それぞれの値に本市の平成 29 年 3 月末住民基本台帳人口を乗ずると、新中央図書館の蔵書の必要規模は、類似団体水準で約 439 千冊、県内市水準で約 559 千冊となります（表 4-4 参照）。

表 4-2 類似団体 14 市の中央館整備水準

番号	館名	人口(人)	現用館の竣工年月日	築年数(年)	蔵書(冊)	人口1人当たり蔵書(冊/人)
	ひたちなか市立中央図書館	159,480	S49.5.19	43	234,365	1.4696
1	磐田市立中央図書館	170,612	H5.6.1	24	390,072	2.2863
2	豊川市中央図書館	185,111	H11.3.31	18	469,314	2.5353
3	小牧市立図書館	153,744	S52.11.24	40	323,206	2.1022
4	日上市立記念図書館	188,938	H2.11.1	27	437,638	2.3163
5	足利市立図書館	153,178	S54.11.24	38	329,591	2.1517
6	小山市立中央図書館	165,842	H4.9.1	25	432,773	2.6096
7	安城市中央図書館	184,892	H28.12.20	1	684,013	3.6995
8	高岡市立中央図書館	175,719	H16.3.30	13	357,845	2.0365
9	西尾市立図書館	170,159	S58.8.1	34	374,593	2.2014
10	大垣市立図書館	162,847	S54.11.16	38	366,338	2.2496
11	栃木市栃木図書館	164,066	S60.8.12	32	313,355	1.9099
12	上田市立上田図書館	160,267	S45.11.1	47	289,343	1.8054
13	今治市立中央図書館	166,059	H7.10.31	22	405,834	2.4439
14	松阪市松阪図書館	168,682	S62.6.1	30	264,626	1.5688
	①14団体平均	169,294	—	—	388,467	2.2896
	②築20年未満平均	181,907	—	—	503,724	2.7571

資料：『日本の図書館 2016』※安城市竣工年は自治体 HP ※ひたちなか市は人口、館数を除き『平成 28 年度 茨城の図書館』
 ※西尾市立図書館の蔵書冊数は『図書館のあゆみ』、足利市立図書館の蔵書冊数は『統計あしかが 2016 (平成 28 年) 版』

表 4-3 県内市 30 市の中央館整備水準

番号	館名	人口(人)	現用館の竣工年月日	築年数(年)	蔵書(冊)	人口1人当たり蔵書(冊/人)
	ひたちなか市立中央図書館	159,480	S49.5.19	43	234,365	1.4696
1	水戸市立中央図書館	273,046	S55.7.1	37	475,586	1.7418
2	つくば市立中央図書館	220,622	H2.6.9	27	289,139	1.3106
3	日上市立記念図書館	188,938	H2.11.1	27	437,638	2.3163
4	古河市古河図書館	145,214	S59.4.1	33	128,559	0.8853
5	土浦市立図書館	144,927	S48.12.1	44	348,784	2.4066
6	取手市立取手図書館	109,348	S54.7.1	38	213,603	1.9534
7	筑西市立中央図書館	108,789	H10.5.1	19	233,631	2.1476
8	神栖市立中央図書館	94,520	H2.7.1	27	382,246	4.0441
9	牛久市立中央図書館	84,378	H5.4.1	24	300,905	3.5662
10	龍ヶ崎市立中央図書館	79,125	S61.7.1	31	253,497	3.2038
11	笠間市立笠間図書館	78,557	H16.4.1	13	200,553	2.5530
12	石岡市立中央図書館	78,221	S55.4.1	37	196,471	2.5117
13	鹿嶋市立中央図書館	68,142	S60.10.1	32	206,745	3.0340
14	常総市立図書館	65,370	S57.7.1	35	122,839	1.8791
15	守谷中央図書館	64,894	H7.5.1	22	399,489	6.1560
16	坂東市立岩井図書館	56,429	H6.4.1	23	130,681	2.3158
17	那珂市立図書館	55,779	H18.10.1	11	169,476	3.0383
18	常陸太田市立図書館	55,495	H2.7.1	27	237,748	4.2841
19	小美玉市小川図書館	52,896	H4.4.1	25	77,209	1.4596
20	ゆうき図書館	52,830	H16.5.1	13	244,434	4.6268
21	銚田市立図書館	50,789	S57.7.1	35	79,870	1.5726
22	つくばみらい市立図書館	49,024	H2.11.1	27	170,649	3.4809
23	北茨城市立図書館	45,942	H28.6.1	1	128,525	2.7975
24	下妻市立図書館	45,001	H13.10.1	16	176,817	3.9292
25	常陸大宮市立図書情報館	44,708	H7.7.1	22	179,983	4.0257
26	稲敷市立図書館	44,242	H5.7.1	24	158,318	3.5785
27	かずみがうら市立図書館	43,575	H10.4.1	19	127,310	2.9216
28	行方市立図書館	37,299	S56.8.1	36	84,258	2.2590
29	高萩市立図書館	30,421	S58.12.1	34	108,500	3.5666
30	潮来市立図書館	29,441	H18.5.1	11	177,514	6.0295
	①30市平均	83,265	—	—	214,699	2.9865
	②築20年未満平均	57,489	—	—	182,283	3.5054

資料：『平成 28 年度 茨城の図書館』 ※人口は『日本の図書館 2016』

表 4-4 類似団体・県内市の中央館整備水準を踏まえた必要規模

番号	区 分	人口1人当たり	必要規模	
		蔵書(冊/人)	人口(人)	蔵書(冊)
①	類似団体(14市)	2.2896	159,326	364,793
	うち築20年未満	2.7571		439,278
②	県内自治体(30市)	2.9865		475,827
	うち築20年未満	3.5054		558,501
	中央図書館(参考)	1.4710		234,365

③ 新中央図書館の収蔵冊数

新中央図書館の蔵書の必要規模は、「①望ましい基準に基づく必要規模の検討」では約 454 千冊、「②他自治体中央館整備水準に基づく必要規模の検討」では約 439～約 559 千冊となります。上記を踏まえ、新中央図書館の収蔵冊数を約 500 千冊とします。

(2) 開架・閉架比率の検討

新中央図書館の開架・閉架比率は、中央図書館及び他自治体の状況や、開架資料更新率（年間受入冊数／開架冊数）などを踏まえて設定しました。

中央図書館の開架比率は約 60%で、類似団体 14 市の築年数 20 年未満の中央館では約 41%（表 4-5 参照）、県内市 30 市の築年数 20 年未満の中央館では約 67%（表 4-6 参照）となっています。

上記を踏まえ、新中央図書館の開架比率 50%とした場合、新中央図書館整備段階での蔵書の購入約 50 千冊及び開館後の本市図書館全体での資料費約 40 百万（現状の約 133%）円／年を想定すると、開架資料の入れ替わりにかかる年数（開架資料更新年数）は約 10 年で、1 年間で更新される開架資料の割合（開架資料更新率）は約 9.7%となります。この開架資料更新率の値は、人口同規模自治体の貸出密度上位 1/4 の自治体の平均値 9.4%（日本図書館協会「図書館評価プロジェクト中間報告」より）を上回ることとなり、開架割合 50%は、書架を新鮮かつ魅力的に保つ上で有効な値であると考えられます。そこで、新中央図書館の開架・閉架比率は、開架 50%：閉架 50%とします。

上記条件のもとでの資料増加シミュレーション結果を表 4-7 に示します。また、参考までに資料費を約 35 百万円としたパターンを表 4-8 に示します。

表 4-5 類似団体 14 市の中央館の開架比率

番号	館名	人口(人)	現用館の竣工年月日	築年数(年)	蔵書(冊)	開架		人口1人当たり	
						冊数(冊)	割合	蔵書(冊/人)	開架(冊/人)
	ひたちなか市立中央図書館	159,480	S49.5.19	43	234,365	140,775	60.1%	1.4696	0.8827
1	磐田市立中央図書館	170,612	H5.6.1	24	390,072	-	-	2.2863	-
2	豊川市中央図書館	185,111	H11.3.31	18	469,314	228,559	48.7%	2.5353	1.2347
3	小牧市立図書館	153,744	S52.11.24	40	323,206	113,208	35.0%	2.1022	0.7363
4	日立市立記念図書館	188,938	H2.11.1	27	437,638	346,547	79.2%	2.3163	1.8342
5	足利市立図書館	153,178	S54.11.24	38	329,591	-	-	2.1517	-
6	小山市立中央図書館	165,842	H4.9.1	25	432,773	213,570	49.3%	2.6096	1.2878
7	安城市中央図書館	184,892	H28.12.20	1	684,013	186,170	27.2%	3.6995	1.0069
8	高岡市立中央図書館	175,719	H16.3.30	13	357,845	172,639	48.2%	2.0365	0.9825
9	西尾市立図書館	170,159	S58.8.1	34	374,593	-	-	2.2014	-
10	大垣市立図書館	162,847	S54.11.16	38	366,338	143,750	39.2%	2.2496	0.8827
11	栃木市栃木図書館	164,066	S60.8.12	32	313,355	183,648	58.6%	1.9099	1.1194
12	上田市立上田図書館	160,267	S45.11.1	47	289,343	150,743	52.1%	1.8054	0.9406
13	今治市立中央図書館	166,059	H7.10.31	22	405,834	157,244	38.7%	2.4439	0.9469
14	松阪市松阪図書館	168,682	S62.6.1	30	264,626	171,198	64.7%	1.5688	1.0149
	①14団体平均	169,294	-	-	388,467	187,934	49.2%	2.2896	1.0897
	②築20年未満平均	181,907	-	-	503,724	195,789	41.4%	2.7571	1.0747

資料：『平成 28 年度 茨城の図書館』 ※人口は『日本の図書館 2016』

※西尾市立図書館の蔵書冊数は『図書館のあゆみ』、足利市立図書館の蔵書冊数は『統計あしかが 2016（平成 28 年）版』

表 4-6 県内市 30 市の中央館の開架比率

番号	館名	人口(人)	現用館の 竣工年月日	築年数 (年)	蔵書(冊)	開架		人口1人当たり	
						冊数 (冊)	割合	蔵書 (冊/人)	開架 (冊/人)
	ひたちなか市立中央図書館	159,480	S49.5.19	43	234,365	140,775	60.1%	1.4696	0.8827
1	水戸市立中央図書館	273,046	S55.7.1	37	475,586	103,703	21.8%	1.7418	0.3798
2	つくば市立中央図書館	220,622	H2.6.9	27	289,139	171,866	59.4%	1.3106	0.7790
3	日立市立記念図書館	188,938	H2.11.1	27	437,638	346,547	79.2%	2.3163	1.8342
4	古河市古河図書館	145,214	S59.4.1	33	128,559	104,153	81.0%	0.8853	0.7172
5	土浦市立図書館	144,927	S48.12.1	44	348,784	180,597	51.8%	2.4066	1.2461
6	取手市立取手図書館	109,348	S54.7.1	38	213,603	143,640	67.2%	1.9534	1.3136
7	筑西市立中央図書館	108,789	H10.5.1	19	233,631	132,901	56.9%	2.1476	1.2216
8	神栖市立中央図書館	94,520	H2.7.1	27	382,246	281,218	73.6%	4.0441	2.9752
9	牛久市立中央図書館	84,378	H5.4.1	24	300,905	156,221	51.9%	3.5662	1.8514
10	龍ヶ崎市立中央図書館	79,125	S61.7.1	31	253,497	229,878	90.7%	3.2038	2.9053
11	笠間市立笠間図書館	78,557	H16.4.1	13	200,553	146,057	72.8%	2.5530	1.8592
12	石岡市立中央図書館	78,221	S55.4.1	37	196,471	149,906	76.3%	2.5117	1.9164
13	鹿嶋市立中央図書館	68,142	S60.10.1	32	206,745	176,115	85.2%	3.0340	2.5845
14	常総市立図書館	65,370	S57.7.1	35	122,839	79,685	64.9%	1.8791	1.2190
15	守谷中央図書館	64,894	H7.5.1	22	399,489	260,137	65.1%	6.1560	4.0086
16	坂東市立岩井図書館	56,429	H6.4.1	23	130,681	78,517	60.1%	2.3158	1.3914
17	那珂市立図書館	55,779	H18.10.1	11	169,476	160,911	94.9%	3.0383	2.8848
18	常陸太田市立図書館	55,495	H2.7.1	27	237,748	157,927	66.4%	4.2841	2.8458
19	小美玉市小川図書館	52,896	H4.4.1	25	77,209	69,247	89.7%	1.4596	1.3091
20	ゆうぎ図書館	52,830	H16.5.1	13	244,434	122,552	50.1%	4.6268	2.3197
21	鉾田市立図書館	50,789	S57.7.1	35	79,870	71,659	89.7%	1.5726	1.4109
22	つくばみらい市立図書館	49,024	H2.11.1	27	170,649	141,520	82.9%	3.4809	2.8867
23	北茨城市立図書館	45,942	H28.6.1	1	128,525	89,610	69.7%	2.7975	1.9505
24	下妻市立図書館	45,001	H13.10.1	16	176,817	121,291	68.6%	3.9292	2.6953
25	常陸大宮市立図書情報館	44,708	H7.7.1	22	179,983	109,068	60.6%	4.0257	2.4396
26	稲敷市立図書館	44,242	H5.7.1	24	158,318	64,918	41.0%	3.5785	1.4673
27	かすみがうら市立図書館	43,575	H10.4.1	19	127,310	58,753	46.1%	2.9216	1.3483
28	行方市立図書館	37,299	S56.8.1	36	84,258	71,623	85.0%	2.2590	1.9202
29	高萩市立図書館	30,421	S58.12.1	34	108,500	88,249	81.3%	3.5666	2.9009
30	潮来市立図書館	29,441	H18.5.1	11	177,514	142,011	80.0%	6.0295	4.8236
	①30市平均	83,265	—	—	214,699	140,349	68.8%	2.9865	2.0469
	②築20年未満平均	57,489	—	—	182,283	121,761	67.4%	3.5054	2.3879

資料：『平成 28 年度 茨城の図書館』 ※人口は『日本の図書館 2016』

表 4-7 資料増加シミュレーション (500 千冊・資料費 40 百万円)

前提条件

人口(人)	155,789	※現況(H29.4)
図書費(円/年)	40,000,000	※現況値は30百万円 (H29年度要覧)
資料単価(円/冊)	1,841	※現況 (H29年度要覧)
人口1人当たり 図書費(円/人)	257	
中央図書館 図書費比率	0.557	※現況値は0.409
中央図書館図書費 (円/年)	22,282,000	※現況値(12,282千円)+α
蔵書更新率	0.028	※(年間受入点数-年間除籍数) /前年度末蔵書数 日本図書館協会 「図書館評価プロジェクト中間報告」 目標数値 上位10%:9.1% 上位1/4:3.7% 平均 :2.8%
除籍率	0.014	
開架割合	50%	※現況:60% 中央館平均:①類似団体49% ②県内69% 築年数20年未満中央館平均: ①類似団体41% ②県内67%
収蔵冊数(冊)	500,000	
開架(冊)	250,000	
閉架(冊)	250,000	

開架率	開架書架更新年数 (年)	開架書架更新率
60%	12	8.1%
50%	10	9.7%
40%	8	12.1%
30%	6	16.1%

※ 開架書架更新率
年間受入冊数/開架冊数
日本図書館協会
「図書館評価プロジェクト中間報告」
目標数値
上位10% : 19.7%
上位1/4 : 9.4%
平均 : 8.3%

シミュレーション結果

(単位:冊)

開館経過年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
受入冊数	50,000	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101
除籍冊数		4,138	4,250	4,359	4,467	4,574	4,679	4,782	4,885	4,985	5,085
増減		7,962	7,851	7,741	7,633	7,527	7,422	7,318	7,216	7,115	7,016
蔵書冊数	284,365	292,327	300,178	307,920	315,553	323,080	330,502	337,820	345,036	352,151	359,167
開架冊数	190,755	198,717	206,568	214,310	221,943	229,470	236,892	244,210	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	95,036	102,151	109,167

開館経過年数	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
受入冊数	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101
除籍冊数	5,183	5,279	5,374	5,468	5,561	5,652	5,742	5,831	5,918	6,005
増減	6,918	6,821	6,726	6,632	6,540	6,448	6,358	6,270	6,182	6,096
蔵書冊数	366,085	372,907	379,633	386,266	392,805	399,254	405,612	411,882	418,064	424,160
開架冊数	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	116,085	122,907	129,633	136,266	142,805	149,254	155,612	161,882	168,064	174,160

開館経過年数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
受入冊数	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101
除籍冊数	6,090	6,174	6,256	6,338	6,418	6,498	6,576	6,653	6,729	6,804
増減	6,011	5,927	5,844	5,763	5,682	5,603	5,525	5,448	5,371	5,296
蔵書冊数	430,171	436,098	441,942	447,705	453,387	458,990	464,514	469,962	475,333	480,630
開架冊数	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	180,171	186,098	191,942	197,705	203,387	208,990	214,514	219,962	225,333	230,630

開館経過年数	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
受入冊数	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101	12,101
除籍冊数	6,878	6,951	7,023	7,094	7,164	7,233	7,300	7,368	7,434	7,499
増減	5,223	5,150	5,078	5,007	4,937	4,868	4,800	4,733	4,667	4,602
蔵書冊数	485,852	491,002	496,080	501,086	506,023	510,891	515,692	520,425	525,092	529,694
開架冊数	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	235,852	241,002	246,080	251,086	256,023	260,891	265,692	270,425	275,092	279,694

※0年次の受入冊数 50,000 冊は、新中央図書館整備段階で購入を想定する冊数

表 4-8 <参考>資料増加シミュレーション (500千冊・資料費 35百万円)

前提条件

人口(人)	155,789	※現況(H29.4)
図書費(円/年)	35,000,000	※現況値は30百万円 (H29年度要覧)
資料単価(円/冊)	1,841	※現況 (H29年度要覧)
人口1人当たり 図書費(円/人)	225	
中央図書館 図書費比率	0.494	※現況値は0.409
中央図書館図書費 (円/年)	17,282,000	※現況値(12,282千円)+α
蔵書更新率	—	※(年間受入点数-年間除籍数) /前年度末蔵書数 日本図書館協会 「図書館評価プロジェクト中間報告」 目標数値 上位10%:9.1% 上位1/4:3.7% 平均 :2.8%
除籍率	0.014	
開架割合	50%	※現況:60% 中央館平均:①類似団体49% ②県内69% 築年数20年未満中央館平均: ①類似団体41% ②県内67%
収蔵冊数(冊)	500,000	
開架(冊)	250,000	
閉架(冊)	250,000	

開架率	開架書架更新年数 (年)	開架書架更新率
60%	16	6.3%
50%	13	7.5%
40%	11	9.4%
30%	8	12.5%

※ 開架書架更新率
年間受入冊数/開架冊数
日本図書館協会
「図書館評価プロジェクト中間報告」
目標数値
上位10% : 19.7%
上位1/4 : 9.4%
平均 : 8.3%

シミュレーション結果

(単位:冊)

開館経過年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
受入冊数	50,000	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385
除籍冊数		4,100	4,174	4,247	4,319	4,389	4,459	4,528	4,596	4,663	4,729
増減		5,285	5,211	5,138	5,067	4,996	4,926	4,857	4,790	4,723	4,657
蔵書冊数	284,365	289,650	294,861	299,999	305,066	310,061	314,988	319,845	324,634	329,357	334,014
開架冊数	190,755	196,040	201,251	206,389	211,456	216,451	221,378	226,235	231,024	235,747	240,404
閉架冊数	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610	93,610

開館経過年数	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
受入冊数	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385
除籍冊数	4,794	4,858	4,921	4,983	5,045	5,105	5,165	5,224	5,282	5,339
増減	4,592	4,528	4,464	4,402	4,341	4,280	4,220	4,161	4,103	4,046
蔵書冊数	338,606	343,133	347,598	352,000	356,340	360,621	364,841	369,002	373,106	377,152
開架冊数	244,996	249,523	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	93,610	93,610	97,598	102,000	106,340	110,621	114,841	119,002	123,106	127,152

開館経過年数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
受入冊数	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385
除籍冊数	5,396	5,451	5,506	5,560	5,614	5,666	5,718	5,770	5,820	5,870
増減	3,990	3,934	3,879	3,825	3,771	3,719	3,667	3,616	3,565	3,515
蔵書冊数	381,141	385,075	388,954	392,779	396,550	400,269	403,936	407,552	411,117	414,632
開架冊数	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	131,141	135,075	138,954	142,779	146,550	150,269	153,936	157,552	161,117	164,632

開館経過年数	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
受入冊数	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385	9,385
除籍冊数	5,919	5,967	6,015	6,062	6,108	6,154	6,199	6,244	6,288	6,331
増減	3,466	3,418	3,370	3,323	3,277	3,231	3,186	3,142	3,098	3,054
蔵書冊数	418,099	421,517	424,887	428,210	431,487	434,718	437,904	441,046	444,143	447,198
開架冊数	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
閉架冊数	168,099	171,517	174,887	178,210	181,487	184,718	187,904	191,046	194,143	197,198

※0年次の受入冊数 50,000冊は、新中央図書館整備段階で購入を想定する冊数

(3) 一般書・児童書割合の検討

新中央図書館の一般書・児童書割合は、現状、他自治体の状況及び本市の人口構成や施策を踏まえて設定しました。

中央図書館の一般書比率は約 63%で、県内市 30 市の築年数 20 年未満の中央館の一般書比率の平均は約 78%となっています。

また、本市では、人口構成において若年層の減少が顕著ではなく、子育て支援に関する施策にも積極的に取り組んでいます。そこで、新中央図書館においても現状と同様児童書の比率を高く維持することとし、一般書・児童書割合を一般書 65% : 児童書 35% とします。

表 4-9 新中央図書館の一般書・児童書割合

番号	区分	構成比		蔵書冊数(冊)		
		一般	児童	総数	うち一般書	うち児童書
①	新中央図書館	65.0%	35.0%	500,000	325,000	175,000
②	県内自治体					
	30市平均	73.0%	27.0%	—	—	—
	築年数20年未満平均	77.7%	22.3%	—	—	—
③	中央図書館(参考)	63.3%	36.7%	234,365	148,216	86,149

表 4-10 県内市 30 市の中央館の一般書・児童書割合

番号	館名	人口(人)	蔵書(冊)	児童書(冊)	一般・児童割合	
					一般	児童
	ひたちなか市立中央図書館	159,480	234,365	86,149	63.3%	36.7%
1	水戸市立中央図書館	273,046	475,586	148,626	68.7%	31.3%
2	つくば市立中央図書館	220,622	289,139	64,452	77.7%	22.3%
3	日立市立記念図書館	188,938	437,638	89,547	79.5%	20.5%
4	古河市古河図書館	145,214	128,559	36,834	71.3%	28.7%
5	土浦市立図書館	144,927	348,784	79,233	77.3%	22.7%
6	取手市立取手図書館	109,348	213,603	59,700	72.1%	27.9%
7	筑西市立中央図書館	108,789	233,631	53,902	76.9%	23.1%
8	神栖市立中央図書館	94,520	382,246	107,824	71.8%	28.2%
9	牛久市立中央図書館	84,378	300,905	67,354	77.6%	22.4%
10	龍ヶ崎市立中央図書館	79,125	253,497	77,324	69.5%	30.5%
11	笠間市立笠間図書館	78,557	200,553	39,878	80.1%	19.9%
12	石岡市立中央図書館	78,221	196,471	55,623	71.7%	28.3%
13	鹿嶋市立中央図書館	68,142	206,745	54,812	73.5%	26.5%
14	常総市立図書館	65,370	122,839	35,000	71.5%	28.5%
15	守谷中央図書館	64,894	399,489	85,133	78.7%	21.3%
16	坂東市立岩井図書館	56,429	130,681	44,498	65.9%	34.1%
17	那珂市立図書館	55,779	169,476	36,315	78.6%	21.4%
18	常陸太田市立図書館	55,495	237,748	70,393	70.4%	29.6%
19	小美玉市小川図書館	52,896	77,209	29,722	61.5%	38.5%
20	ゆうき図書館	52,830	244,434	31,981	86.9%	13.1%
21	鉾田市立図書館	50,789	79,870	25,447	68.1%	31.9%
22	つくばみらい市立図書館	49,024	170,649	58,559	65.7%	34.3%
23	北茨城市立図書館	45,942	128,525	37,217	71.0%	29.0%
24	下妻市立図書館	45,001	176,817	38,965	78.0%	22.0%
25	常陸大宮市立図書情報館	44,708	179,983	45,896	74.5%	25.5%
26	稲敷市立図書館	44,242	158,318	52,585	66.8%	33.2%
27	かずみがうら市立図書館	43,575	127,310	34,145	73.2%	26.8%
28	行方市立図書館	37,299	84,258	30,887	63.3%	36.7%
29	高萩市立図書館	30,421	108,500	31,850	70.6%	29.4%
30	潮来市立図書館	29,441	177,514	40,776	77.0%	23.0%
	①30市平均	83,265	214,699	55,483	73.0%	27.0%
	②築20年未満平均	57,489	182,283	39,147	77.7%	22.3%

資料：『平成 28 年度 茨城の図書館』 ※人口は『日本の図書館 2016』

4-2 サービス方針の検討

(1) まなび：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援

① 中央館として相応しい質・量の資料の提供

高度・多様化する市民の学習ニーズに対応するため、中央館として十分な量の蔵書、新鮮かつ豊富でバランスの取れた蔵書の提供を図ります。中央図書館は規模が小さいこともあり、利用者が直接閲覧可能な開架資料は140千冊程度ですが、新中央図書館では収蔵能力と開架資料の拡充により、さらなる利用促進を図ります。

中央図書館では子ども、高齢者、ビジネスマンなどの利用が多くなっていますが、今後はより幅広い市民の利用を促進するため、市民意見の把握に努め、市民ニーズを的確に反映した資料の提供を目指します。また、大活字本やさわる絵本（ユニバーサルデザイン絵本）など、多様なニーズに対応可能な資料の収集・提供を図ります。

さらに、ICT技術の進展や市民ニーズの多様化を踏まえ、電子書籍の導入に関して他自治体の動向などの把握に努めるとともに、視聴覚資料の充実や、日経4紙、茨城新聞、法律情報以外のオンラインデータベースの提供などについて検討します。

② 赤ちゃんから高齢者まですべての市民にとって快適な読書環境の提供

中央図書館には寛ぎの空間が少なく、資料の貸出・返却を目的とした利用が多くなっていることから、ゆっくりと本や雑誌を読む、静かに学習をする、友人同士で議論をするなど、市民一人ひとりの図書館利用ニーズに対応した空間づくりに配慮します。

中央図書館はエレベーターが未整備であるなど、高齢者や障害者にとって利用しやすい施設ではないことから、誰もが自由に、快適に利用することができる施設とするため、ユニバーサルデザインの考えに基づく空間づくりを進めます。

③ ICTタグシステムやICT技術の導入による利用者利便性の向上

中央図書館では中高生や若年層の利用率が低いこと、新中央図書館では収蔵能力の拡大を図ることなどを踏まえ、ICTタグシステムを活用した自動貸出機・返却機の導入などにより、貸出・返却処理の簡略化や、利用者のプライバシー保護を図ります。

ICT技術の進展を踏まえ、タブレット端末やスマートフォンを活用したシステム（関連資料などの推薦機能を付加した図書検索、座席予約、商店街・イベント・観光スポットの情報提供など）の導入を検討します。

表 4-11 必要諸室等

サービス方針	必要諸室・設備等
① 中央館として相応しい質・量の資料の提供	開架書架,閉架書庫,PCコーナー 等
② 赤ちゃんから高齢者まですべての市民にとって快適な読書環境の提供	多様な閲覧スペース,グループ学習室,対面朗読室 等
③ ICTタグシステムやICT技術の導入による利用者利便性の向上	BDS(Book Detection System : 図書紛失防止システム),自動貸出機・返却機,予約棚 等

(2) みのり：日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ

① レファレンスサービスの充実

本市の図書館利用が概ね横ばいで推移している一方で、レファレンス件数には伸びがみられることを踏まえ、関連機関とのさらなる連携、レファレンス事例の活用、職員の技術向上などを通じて、利用者の問題解決・知的要求に的確に応えられるレファレンスサービスの展開を目指します。

② ライフステージや年代に応じたサービスの展開

中央図書館では、貸出者数に占める児童の割合が増加、一般の割合が減少していることから、成人を対象とした魅力ある講座や催事の充実などを通じて各年代のニーズに応じたサービスの提供を図り、生涯に亘る読書や学習の継続を支援します。

③ 適切な開館時間・開館日数の検討

中央図書館の開館日数は287日（平成27年度）と類似団体平均の300日と比較して少なくなっていること、通勤・通学層の利用がやや難しい開館時間帯（平日：午前9時～午後7時、土・日・祝日：午前9時～午後5時）となっていることなどを踏まえ、さらなる市民の図書館利用を誘導する適切な開館時間・開館日数について検討します。

表 4-12 必要諸室等

サービス方針	必要諸室・設備等
① レファレンスサービスの充実	レファレンスデスク 等
② ライフステージや年代に応じたサービスの展開	児童コーナー、ティーンズコーナー、子育て支援コーナー 託児スペース 等

(3) あそび：知的好奇心を刺激し、子どものアソビをマナビに

① 「ふぁみりこらぼ」など関連機関と連携した効果的なサービス展開

平成29年10月1日に子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」がオープンしたことを踏まえ、連携したサービス展開により、就学前後の子どもに対し、絵本から読み物へ、読み聞かせからひとり読みへのスムーズな移行の支援を図ります。

また、那珂湊図書館、佐野図書館だけでなく、学校図書館、民間団体などとも連携・協力し、子どもが読書に親しむ機会、読書に関わる環境、学校における読書環境などの充実を図ります。また、ヘルス・ケア・センター、幼稚園、保育所（園）などとも積極的な連携を図り、取り組みの充実に努めます。

② 就学期以降の子どもの本や読書への触れ合いの支援

「第2次子ども読書活動推進計画」に基づき、年代や特性に応じた資料の提供などを進め、読書習慣や図書館利用習慣の形成に資するような取り組みを継続して行います。

中央図書館の児童室は一般室と分離されており、子どもが自由に利用しやすい環境が提供されていることを踏まえ、子どもが大人の目を気にせずに話したり、遊んだり、普段とは異なる環境で読書をしたりすることができ、毎日でも来たくなるような児童コーナーのあり方を検討します。

主に就学期以降の子どもの対象とした創造的な学びの場として、読書体験だけでなく、知的好奇心を刺激する体験型の講座、外国語との触れ合いなどを通じて、子どもたちの表現力・創造力を育み、人生をより深く生きる力を身につけることを支援します。

③ 中高生の利用促進につながるサービスの充実

読書離れの進みがちな世代である中高生の利用促進に向け、若者の成長を促す場としてティーンズコーナーを充実させ、自主的な学習の場、同世代の友人と語り合ったり学び合ったりする場、将来について考える機会などを提供します。

中高生の興味を惹くような学習・教養まんが、知育ゲーム、資格取得に関する本、ティーンズ向け雑誌などの充実を図ります。

表 4-13 必要諸室等

サービス方針	必要諸室・設備等
① 「ふぁみりこらぼ」など関連機関と連携した効果的なサービス展開	児童コーナー（開架、おはなしスペース、児童カウンター等） ティーンズコーナー 学習室、視聴覚室 等
② 就学期以降の子どもの本や読書への触れ合いの支援	
③ 中高生の利用促進につながるサービスの充実	

(4) 未来へ：地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献

① ひたちなか市らしい資料・情報の発信

中央図書館で多くの郷土資料（一般書 7,489 冊，児童書 208 冊）や行政資料（一般書 348 冊）を所蔵することを活かし、収集のための連携・協力体制を強化し、今後も郷土資料や行政資料の積極的な収集・発信を図ります。また、利用者利便性の向上に向けた郷土資料のデジタル化などについても検討します。

ロック・イン・ジャパン・フェスティバル関連資料、伝統芸能関連資料、地場産業関連資料など、よりひたちなか市らしさを感じることのできる資料の提供について検討します。本市にある国営ひたち海浜公園、ひたちなか海浜鉄道、阿字ヶ浦海岸、那珂湊おさかな市場、水戸徳川家関連の史跡などの観光資源の案内やプロモーション情報を広く市内外へと効率的・効果的に発信する方法を検討します。

② 暮らしやすいまち,豊かな暮らしの実現に資するサービスの提供

中央図書館で展開しているビジネス支援（関連資料提供など）・法律情報提供（オンラインデータベース提供など）・健康支援（特集コーナー・健康情報パンフレット設置など）のサービスをさらに発展させ、まちや市民の抱える様々な課題の解決、まちの魅力づくりを支援するための専門的なサービスとしての展開を検討します。

ひたちなか商工会議所, ひたちなかテクノセンター, 子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」, 市民交流センター「ひたちなか・ま」, ヘルス・ケア・センター, ひたちなか総合病院などの関連機関とのさらなる連携方策について検討し, 相談対応や講座の開催などを通じて, 競争力ある産業・企業の育成, 子育て世代の定住促進・きずなづくり支援, 心身ともに健康なまちづくりの推進などに資するサービスの提供を図ります。

③ 市民の居場所や賑わい・交流の場の創出

中央図書館は多くの市民に親しまれ, 利用されていますが, ロビーや飲食コーナーでの話し声が館内に響いてしまうことがあるなど, 資料を介した人の繋がりを維持・創出するための機能が不足しています。新中央図書館では, 賑わいの空間, 静寂の空間とのバランスのとれた配置に配慮し, 展示・交流空間, カフェなどの設置を検討するなど, 市民が集い, 豊かな時間を過ごすことのできる場の提供を図ります。

中央図書館でもボランティアによる読み聞かせが行われていますが, 新中央図書館では図書館サポーターとしてその活動範囲を事業の企画・運営, 資料の整理, 対面朗読などにまで広げ, 市民参画機会の拡充を図ることを検討します。併せて, 夏休み期間などの子どもサポーター参画, 出張読み聞かせサービスの展開, 地域活動団体の活動・PRの場の提供, 世代や文化を超えた交流の創出なども検討します。

表 4-14 必要諸室等

サービス方針	必要諸室・設備等
① ひたちなか市らしい資料・情報の発信	展示スペース, 郷土資料コーナー 等
② 暮らしやすいまち, 豊かな暮らしの実現に資するサービスの提供	レファレンスデスク, 会議室 等
③ 市民の居場所や賑わい・交流の場の創出	賑わいエリア・静寂エリア等, サポーター室, カフェ交流スペース（飲食可）等

5-1 施設規模の検討

(1) 必要諸室・規模の設定

近年では、公共図書館においても滞在性を重視したゆとりある空間の確保が必要とされていることなどを踏まえ、開架スペースの面積を設定する際の原単位について、一般的な値（パターン1：一般開架スペース 100 冊/m²，児童開架スペース 120 冊/m²）と、ややゆとりを持たせた値（パターン2：一般開架スペース 80 冊/m²，児童開架スペース 100 冊/m²）の2パターンの値を用いることとしました。これに「4-1 蔵書規模の検討」で設定した新中央図書館の収蔵冊数（500 千冊），開架割合（50%）と一般書・児童書割合（一般書 65%：児童書 35%），「4-2 サービス方針の検討」の結果を踏まえると，新中央図書館の延床面積は，約 4,800 m²（表 5-1 及び表 5-2 参照）と約 5,500 m²（表 5-3 及び表 5-4 参照）の2パターンとなりました。

表 5-1 開架・閉架面積試算（パターン1）

試算項目		適用	数	単位
開架スペース の面積設定	1㎡当たりの蔵書数	1㎡当たりの蔵書数が多ければ余裕は小さく、少な ければゆったりとしたスペースとなる。 100冊/㎡が目安。	100	冊/㎡
	一般開架スペースの面積	163,000（冊） / 100（冊/㎡） ≒	1,630 1,630	㎡
	1㎡当たりの蔵書数		120	冊/㎡
	児童開架スペースの面積	87,000（冊） / 120（冊/㎡） ≒	725 720	㎡
	計		2,350	㎡
閉架書庫 の面積設定	1㎡当たりの蔵書数	集密書庫	500	冊/㎡
	閉架書庫の面積	250,000（冊） / 500（冊/㎡） ≒	500 500	㎡

表 5-2 必要諸室及び規模（パターン1）

区分	部門	ゾーン	室名	適用	面積(㎡)			
					室	ゾーン	部門	区分
利用者	導入	エントランス	風除室		15	20	70	3,050
			ロッカー・車椅子 ベビーカースペース		5			
		交流スペース	ロビー		50	50		
			展示スペース 自販機コーナー					
	開架	児童開架	開架スペース		720	780	2,650	
			お話しスペース	託児スペース兼用	50			
			子ども用トイレ		5			
			授乳室		5			
		一般開架	開架スペース		1,630	1,870		
			新聞雑誌スペース		50			
			ティーンズコーナー		50			
			インターネット・AV	2.5㎡×4席	10			
		対面朗読室		10				
		サービスデスク		20				
		参考図書		100				
	レファレンスデスク	サービスデスクに含む						
集会 学習		学習室	2㎡×50人	100	330	330		
		多目的室(視聴覚室)	2㎡×100人	200				
		会議室(貸出用)		30				
管理	事務 管理	事務作業室	5㎡×20	100	190	250		
		通用口						
		会議室	30㎡×2	60				
		サポーター(ボランティア)室	30㎡	30				
		休憩		10	60			
		更衣		10				
		倉庫		10				
		車庫		30				
	保存	閉架書庫		500	500		500	
	共用		階段・廊下・EV・機械 室・トイレ等	20%				
合計					4,813			

表 5-3 開架・閉架面積試算 (パターン2)

試算項目		適用	数	単位
開架スペース の面積設定	1㎡当たりの蔵書数	1㎡当たりの蔵書数が多ければ余裕は小さく、少な ければゆったりとしたスペースとなる。 100冊/㎡が目安。	80	冊/㎡
	一般開架スペースの面積	163,000 (冊) / 80 (冊/㎡)	2,038	㎡
			2,040	
	1㎡当たりの蔵書数		100	冊/㎡
	児童開架スペースの面積	87,000 (冊) / 100 (冊/㎡)	870	㎡
		870		
計			2,910	㎡
閉架書庫 の面積設定	1㎡当たりの蔵書数	集密書庫	500	冊/㎡
	閉架書庫の面積	250,000 (冊) / 500 (冊/㎡)	500	㎡
			500	

表 5-4 必要諸室及び規模 (パターン2)

区分	部門	ゾーン	室名	適用	面積(㎡)			
					室	ゾーン	部門	区分
利用者	導入	エントランス	風除室		15	20	70	3,610
			ロッカー・車椅子 ベビーカースペース		5			
			ロビー					
		交流スペース	展示スペース		50	50		
			自販機コーナー					
	開架	児童開架	開架スペース		870	930	3,210	
			お話しスペース	託児スペース兼用	50			
			子ども用トイレ		5			
			授乳室		5			
		一般開架	開架スペース		2,040	2,280		
			新聞雑誌スペース		50			
			ティーンズコーナー		50			
			インターネット・AV	2.5㎡×4席	10			
			対面朗読室		10			
			サービスデスク		20			
集会 学習	参考図書		100	330	330			
	レファレンスデスク	サービスデスクに含む						
	学習室	2㎡×50人	100					
管理	事務 管理	多目的室(視聴覚室)	2㎡×100人	200	190	250		
		会議室(貸出用)		30				
		事務作業室	5㎡×20	100				
		通用口						
		会議室	30㎡×2	60				
		サポーター(ボランティア)室	30㎡	30				
		休憩		10				
		更衣		10				
	保存	倉庫		10	60			
		車庫		30				
共用		閉架書庫		500	500	500		
		階段・廊下・EV・機械 室・トイレ等	20%				1,163	
合計								5,523

(2) 駐車台数の検討

① 入館者数の検討

中央図書館の平成 27 年度の貸出密度（住民 1 人当たりの貸出冊数）は 2.6 冊／人ですが、「1-2 他自治体との整備水準の比較」を踏まえ、新中央図書館での目標値を 3.7 冊／人とすると、入館者数は約 368 千人と算定されます（平成 28 年度入館者数 266 千人の約 1.4 倍）。

なお、現況を踏まえて新中央図書館の入館者数について、平日と土日祝日の比を 1:1.4 とすると、土日祝日には 1,550 人/日程度の入館者が想定されます(表 5-6 参照)。また、現況より土日祝日のピーク時入館者数を 15% とすると、ピーク時には 230 人程度の入館者が想定されます。

表 5-5 新中央図書館の入館者数等想定

項目	数値	備考
ア 人口	159 千人	平成 29 年 3 月末住民基本台帳人口
イ 貸出密度	3.7 冊/人	類似団体平均値以上
ウ 年間貸出冊数	588 千冊	人口×貸出密度
エ 1 回当たり貸出冊数	1.6 冊/回	貸出冊数/入館者数（平成 29 年度図書館要覧）
オ 年間入館者数	368 千人	年間貸出冊数/1 回当たり貸出冊数
カ ピーク時入館者数	230 人	土日のピーク時

表 5-6 新中央図書館の平日・土日祝日別入館者数想定

項目	平日	土日祝日
年間入館者数（人/年）	368,000	
開館日数（日）	175	112
入館比率	1.0	1.4
日入館者数（人/日）	1,110	1,550

② 必要駐車台数の検討

新中央図書館の入館者について、車による来館は全体の 60%程度（参考：市立図書館に関するアンケート調査における自動車分担率は 65.4%）、自動車 1 台当たり平均乗車人員は 1.3 人/台（国土交通省道路局 HP 道路交通センサスから見た道路交通の現状、推移（データ集）平成 22 年度乗用車値）とすると、必要駐車台数は 110 台程度と想定されますが、さらに入館者数や駐車場利用者数等を精査し、検討が必要と思われます。

参考までに人口同規模自治体で近年設置された公共図書館の駐車台数を表 5-7 に示します。

$$\begin{aligned}
 \text{必要駐車台数} &= \text{ピーク時入館者数} \times \text{自動車分担率} / \text{平均乗車人員} \\
 &= 230 \times 0.6 / 1.3 \\
 &\approx 110 \text{ (台)}
 \end{aligned}$$

表 5-7 (参考) 近年整備された公共図書館の駐車台数

館名	人口	蔵書冊数	延床面積	最寄り駅からの距離	1日あたり来館者数	駐車場	併設施設
八千代市立中央図書館	194,101人	149,935冊	4,860㎡	1.3km	1,243人	提携駐車場1ヶ所 260台	ギャラリー
和泉市立和泉図書館	187,434人	223,754冊	1,668㎡	220m	1,015人	施設内駐車場 219台	商業施設
鳥取市立中央図書館	193,064人	517,458冊	4,596㎡	450m	1,338人	施設内駐車場 約326台	市役所南庁舎
帯広市図書館	168,753人	519,531冊	6,545㎡	200m	1,430人	施設内駐車場 94台	—
高岡市立中央図書館	175,719人	357,845冊	3,384㎡	250m	1,577人	提携駐車場7ヶ所 1,555台	生涯学習センター 高等学校、商業施設等
山口市立中央図書館	194,875人	384,354冊	3,928㎡	1.6km	1,433人	施設内駐車場 157台	展示空間、映画館等
豊川市立中央図書館	185,111人	469,314冊	5,773㎡	800m	1,555人	施設内駐車場 120台	プラネタリウム
野田市立興風図書館	155,900人	361,869冊	3,000㎡	850m	800人	提携駐車場5ヶ所 95台	出張所、公民館 コミュニティ開館
ひたちなか市立中央図書館	159,480人	234,365冊	1,868㎡	450m	974人	提携駐車場1ヶ所 117台	—

5-2 整備候補地の検討

(1) 整備候補地

中央図書館はJR勝田駅に近い中心市街地に立地し、幅広く多くの市民に利用されているため、建替えを行う整備候補地は、中心市街地または隣接する地域にある市の所有地としました。この条件に該当する現況敷地、青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地、東石川第四公園グランド敷地の3か所の整備候補地に、さらに中央図書館に隣接する市営元町駐車場敷地を加えた4か所の整備候補地について、比較検討を行いました。

- 候補地1-A：現況敷地
- 候補地1-B：市営元町駐車場敷地
- 候補地2：青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地
- 候補地3：東石川第四公園グランド敷地

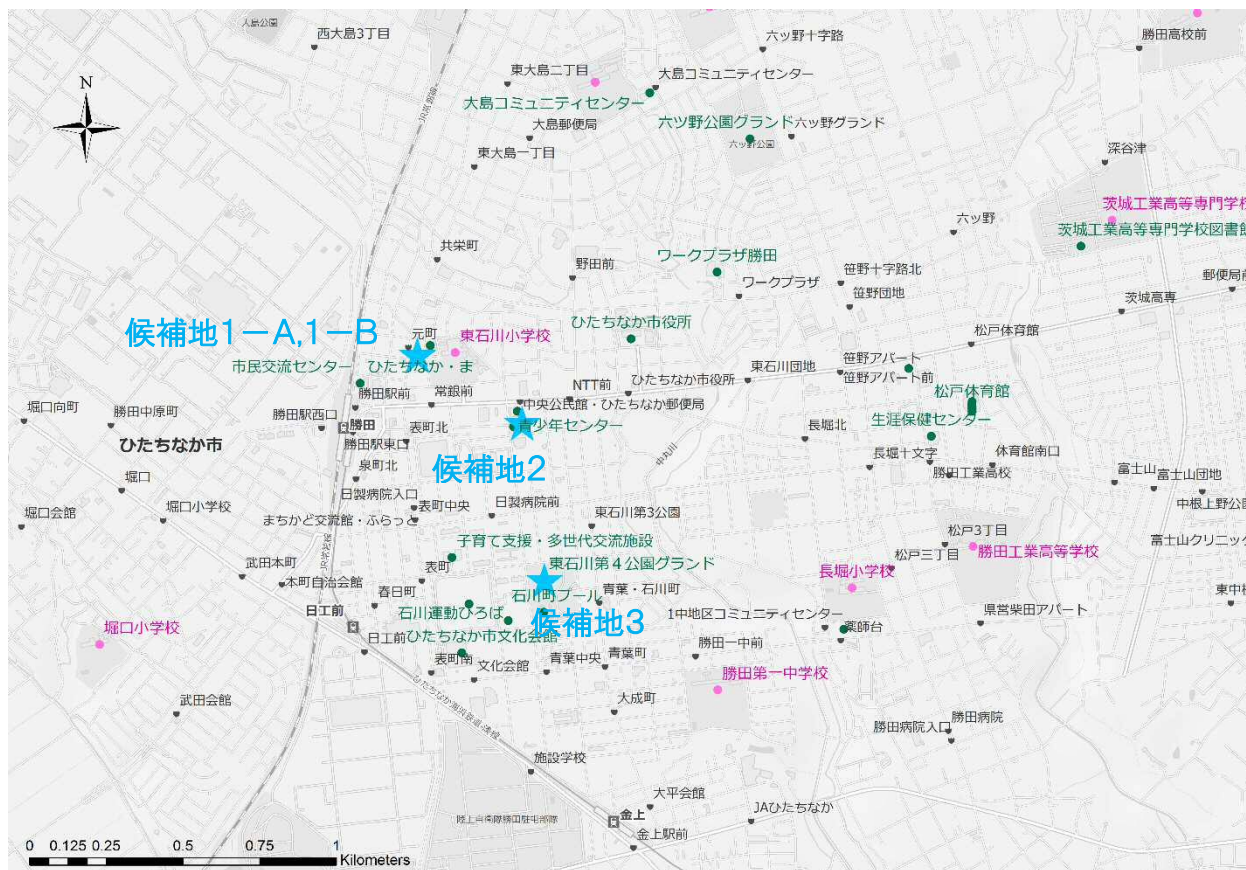
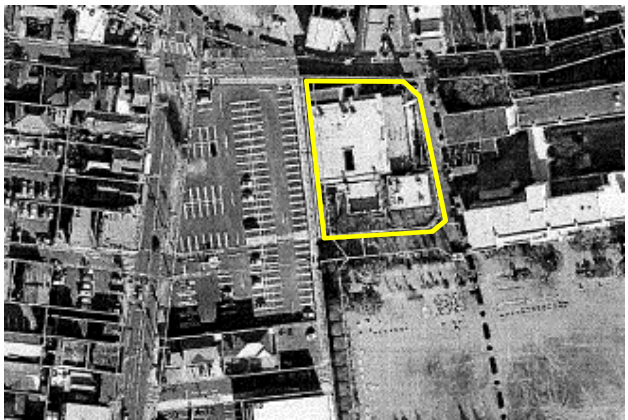
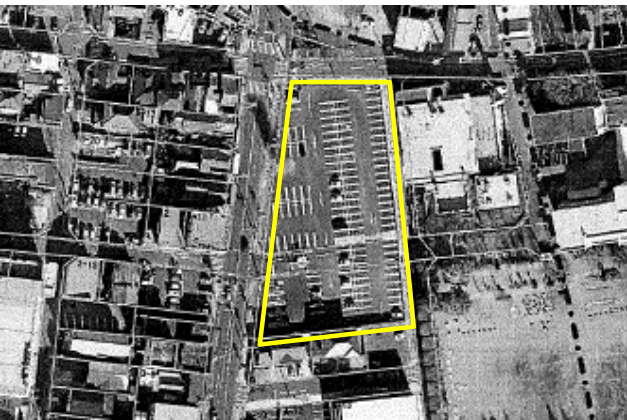
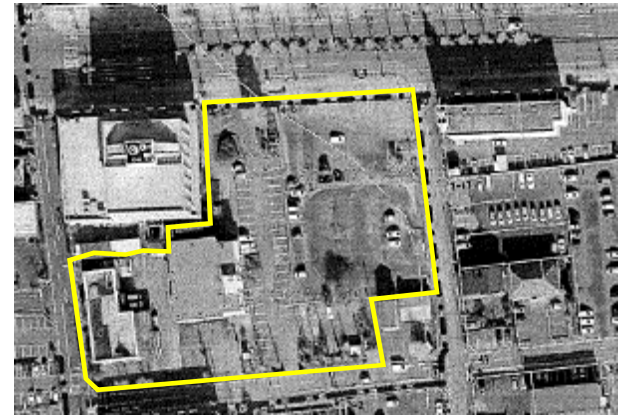



図 5-1 整備候補地の立地

(2) 整備候補地の概要

表 5-8 整備候補地の概要

	候補地 1 - A : 現況敷地	候補地 1 - B : 市営元町駐車場敷地	候補地 2 : 青少年センター・生涯学習センター 市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3 : 東石川第四公園グランド敷地
(1) 敷地条件				
① 位置	元町 5-3	元町 4-4	勝田中央 14-2,9	石川町 25
② 面積	2,293 ㎡	3,530 ㎡	7,613 ㎡	30,123 ㎡ (グランド部分は約 10,000 ㎡)
③ 敷地・既存 工作物等	 <ul style="list-style-type: none"> ● 中央図書館が立地 ● 隣接して市営元町駐車場 (3,530 ㎡) が立地 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 市営元町駐車場が立地 ● 隣接して中央図書館 (2,293 ㎡) が立地 	 <ul style="list-style-type: none"> ● H29 年秋に移転した旧青少年センター建物、旧生涯学習センター建物が立地 ● 市営勝田中央駐車場及び商工会議所用駐車場は、通常の駐車場利用の他、ひたちなか祭り本部としても利用 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 野球場 1 面 (内野仕様: 黒土, 外野仕様: 芝), ベンチ, トイレ, 遊具等設備 ● 石川町プール (管理事務所あり)
(2) 地域・地区				
① 用途地域・ 防火指定 (建ぺい率/容積率)	● 第一種住居地域 (60%/200%)	● 商業地域 (80%/400%) ● 準防火地域: 耐火建築物 (1,500 ㎡を超える場合)	● 商業地域 (80%/400%) ● 準防火地域: 耐火建築物 (1,500 ㎡を超える場合)	● 第二種住居地域 (60%/200%) ● 都市計画公園: 15% (5% + 教養施設特例 10%)
② 地区計画	-	-	-	● 石川・青葉地区計画 建築物等の形態又は意匠の制限, 駐車場等の舗装等

(3) 整備候補地における整備イメージの検討

各整備候補地における整備イメージの検討にあたっては、「5-1 施設規模の検討」の結果を踏まえ、施設規模として約 4,800 m²及び約 5,500 m²の2値のうち、ややゆとりを持たせた値の約 5,500 m²を用いるものとし、表 5-9 の整備内容を前提としました。また、整備候補地にある既存建物はすべて取り壊すことを前提とします。

各整備候補地における指定建ぺい率や斜線制限、容積率、日影規制などを踏まえた整備イメージの検討結果を表 5-10 に示します。また、各整備候補地において新中央図書館や駐車場を建築可能か確認するための整備イメージを表 5-11～表 5-15 に示します。候補地 1-A (現況敷地) は敷地が狭く、用途地域が第一種住居地域であることもあり、建築可能な延床面積が 4,585.48 m²と新中央図書館で想定する施設規模を下回っています。

表 5-9 整備内容

整備内容	規模	備考
①新中央図書館	延床面積約 5,500 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ● 階数を抑え、整形とする。 ● 書架間隔を考慮した柱スパンとする。
②駐車場	約 110 台	<ul style="list-style-type: none"> ● 平面駐車場を基本とする。 ● 敷地内に近隣施設の既存駐車場がある場合には、近隣施設での必要台数に新中央図書館で必要とする約 110 台を併せた台数を確保する。

表 5-10 整備イメージの検討結果

	候補地 1-A 現況敷地	候補地 1-B 市宮元町駐車場 敷地	候補地 2 (立体駐車) 青少年C・生涯学習C 市宮勝田中央駐車場等 敷地	候補地 2 (平面駐車) 青少年C・生涯学習C 市宮勝田中央駐車場等 敷地	候補地 3 東石川第四公園 グランド敷地
①想定建物					
想定形状 (建築面積)	43.2m×28.8m (1,244.16 m ²)	64.8m×28.8m (1,866.24 m ²)	36.0m×51.0m (1,836.00 m ²)	43.2m×43.2m (1,866.24 m ²)	64.8m×43.2m (2,799.36 m ²)
想定階数	地上3階 地下1階	地上3階	地上3階	地上3階	地上2階
想定延床面積	4,561.92 m ²	5,495.04 m ²	5,508.00 m ²	5,495.04 m ²	5,495.04 m ²
②駐車場					
駐車台数	110 台	110 台	210 台 (商工会議所分 100 台含む)	110 台	110 台
形状	平面	立体	立体	平面	平面
③計画条件					
特に留意すべき斜線制限	西側道路斜線	東側道路斜線	東側道路斜線 西側道路斜線	東側道路斜線	—
日影規制	あり	なし	なし	なし	なし

表 5-11 整備イメージ（候補地 1 - A : 現況敷地）

候補地 1-A : 現況敷地				
位置	元町 5-3	敷地面積	3,529.85 m ² + 2,292.74 m ²	
用途地域	第一種住居地域（市営元町駐車場敷地部分：商業地域）	建ぺい率	60%	容積率 200%
防火指定	なし	高度地区	なし	
日影規制	4m・5h / 3h（建築物の高さ>10m のとき適用）	地区計画	なし	
その他				
建築可能面積	最大建築面積：1,375.64 m ² （敷地面積 2,292.74 m ² 想定） 最大延床面積：4,585.48 m ² （敷地面積 2,292.74 m ² 想定）			
<p>▲：建物利用者出入口 △：管理者出入口 ▲：車両出入口</p>				
面積 駐車台数	駐車場側		図書館側	
	平面駐車：110台		地下1階床面積：1,244.16 m ² 1階床面積：1,244.16 m ² 2階床面積：1,244.16 m ² 3階床面積：829.44 m ² 建築面積：1,244.16 m ² （建ぺい率：54.27%） 延床面積：4,561.92 m ² （容積率：198.97%）	

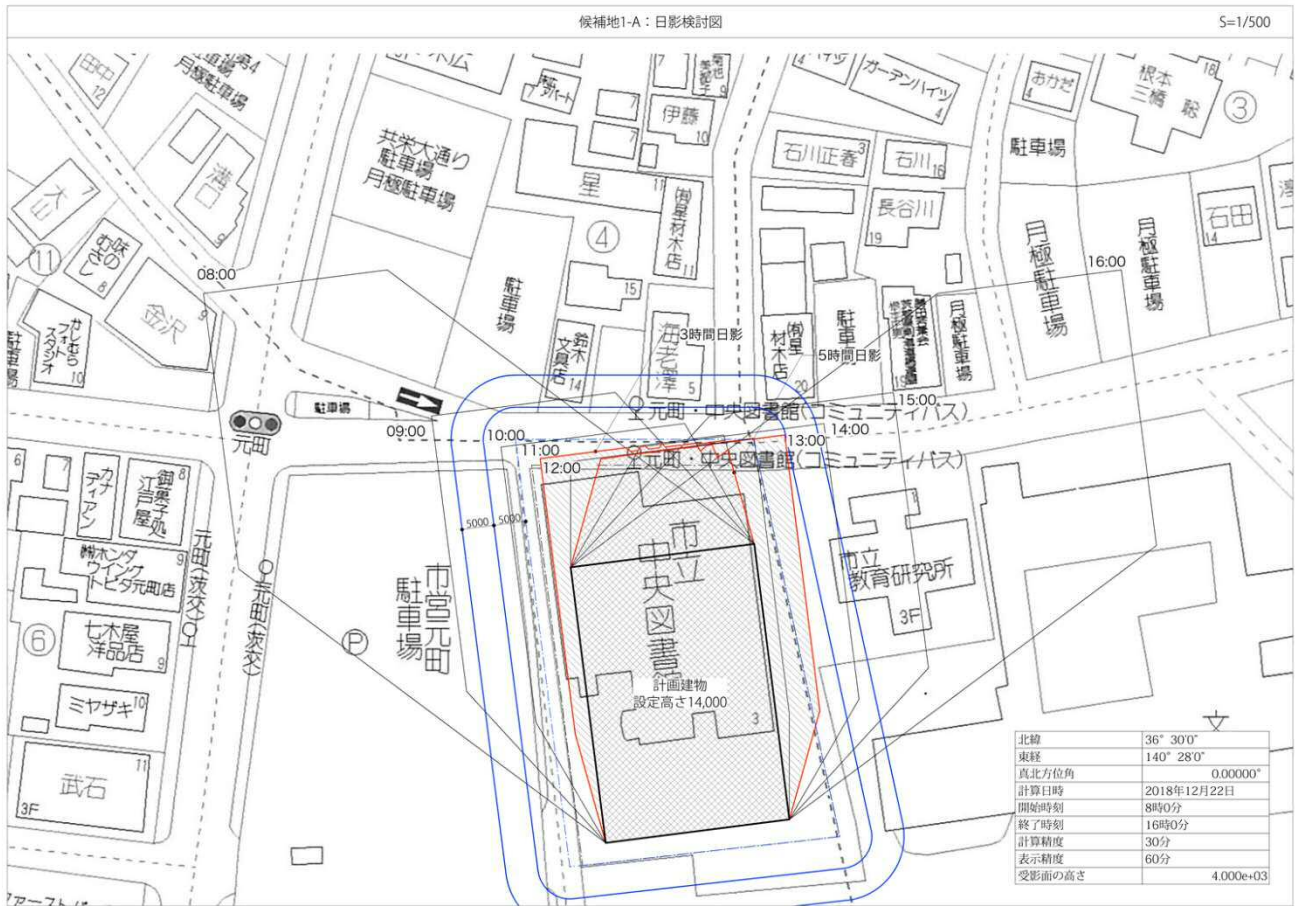


図 5-2 日影図（候補地 1 - A：現況敷地）

表 5-12 整備イメージ (候補地 1-B : 市営元町駐車場敷地)

候補地 1-B : 市営元町駐車場敷地					
位置	元町 4-4	敷地面積	3,529.85 m ² + 2,292.74 m ²		
用途地域	商業地域 (中央図書館敷地部分 : 第一種住居地域)	建ぺい率	80%	容積率	400%
防火指定	準防火地域 (1,500 m ² を超える場合耐火建築物)	高度地区	なし		
日影規制	なし (中央図書館敷地部分 : 4m・5h / 3h (建築物の高さ > 10m のとき適用))	地区計画	なし		
その他					
建築可能面積	最大建築面積 : 2,823.88 m ² (敷地面積 3,529.85 m ² 想定) 最大延床面積 : 14,119.40 m ² (敷地面積 3,529.85 m ² 想定)				
<p>▲ : 建物利用者出入口 △ : 管理者出入口 ▲ : 車両出入口</p>					
面積 駐車台数	図書館側		駐車場側		
	1 階床面積 : 1,866.24 m ² 2 階床面積 : 1,866.24 m ² 3 階床面積 : 1,762.56 m ² 建築面積 : 1,866.24 m ² (建ぺい率 : 53.09%) 延床面積 : 5,495.04 m ² (容積率 : 155.67%)		1 階床面積 : 1,367.65 m ² (28 台) 2 階床面積 : 1,367.65 m ² (28 台) 3 階床面積 : 1,367.65 m ² (28 台) 屋上 : (26 台) 建築面積 : 1,367.65 m ² (建ぺい率 : 59.65%) 延床面積 : 4,102.95 m ² (容積率 : 178.95%) 立体駐車 : 110 台		

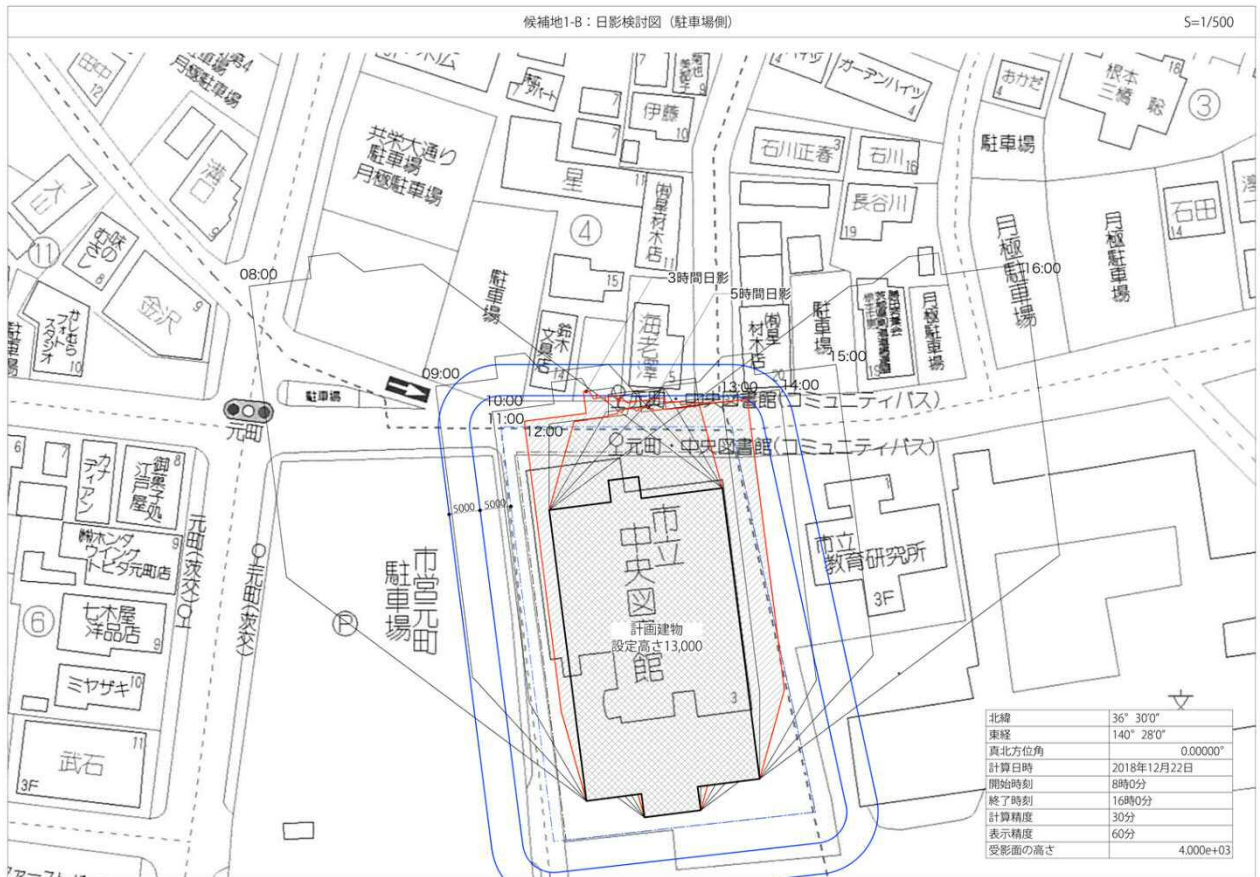


図 5-3 日影図（候補地1-B：市営元町駐車場敷地：立体駐車場部分）

表 5-13 整備イメージ (候補地 2 (立体駐車) : 青少年 C・生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地)

候補地 2 (立体駐車) : 青少年 C・生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地				
位置	勝田中央 14-2,9	敷地面積	7,613.10 m ²	
用途地域	商業地域	建ぺい率	80%	容積率 400%
防火指定	準防火地域 (1,500 m ² を超える場合耐火建築物)	高度地区	なし	
日影規制	なし	地区計画	なし	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年秋に移転した旧青少年センター建物, 旧生涯学習センター建物が立地 ・ 市営勝田中央駐車場 (37 台) は, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 ・ 商工会議所用駐車場 (67 台) もあり, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 			
建築可能面積	最大建築面積 : 6,090.48 m ² 最大延床面積 : 30,452.40 m ²			
▲ : 建物利用者出入口 △ : 管理者出入口 ▲ : 車両出入口				
面積 駐車台数	図書館側		駐車場側	
	1 階床面積 : 1,836.00 m ² 2 階床面積 : 1,836.00 m ² 3 階床面積 : 1,836.00 m ²		1 階床面積 : 2,277.65 m ² (54 台) 2 階床面積 : 2,277.65 m ² (54 台) 3 階床面積 : 2,277.65 m ² (54 台) 屋上 : (48 台) 立体駐車 : 210 台	
建築面積 : 1,836.00 m ² (図) + 2,277.65 m ² (立駐) = 4,799.65 m ² (建ぺい率 : 63.04%) 延床面積 : 5,508.00 m ² (図) + 6,832.95 m ² (立駐) = 14,398.95 m ² (容積率 : 189.13%)				

表 5-14 整備イメージ（候補地 2（平面駐車）：青少年 C・生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地）

候補地 2（平面駐車）：青少年 C・生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地					
位置	勝田中央 14-2,9	敷地面積	7,613.10 m ²		
用途地域	商業地域	建ぺい率	80%	容積率	400%
防火指定	準防火地域（1,500 m ² を超える場合耐火建築物）	高度地区	なし		
日影規制	なし	地区計画	なし		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年秋に移転した旧青少年センター建物，旧生涯学習センター建物が立地 ・ 市営勝田中央駐車場（37 台）は，通常の駐車場利用の他，ひたちなか祭り本部としても利用 ・ 商工会議所用駐車場（67 台）もあり，通常の駐車場利用の他，ひたちなか祭り本部としても利用 				
建築可能面積	最大建築面積：6,090.48 m ² 最大延床面積：30,452.40 m ²				
▲：建物利用者出入口 △：管理者出入口 ▲：車両出入口					
面積 駐車台数	1 階床面積：1,866.24 m ² 2 階床面積：1,866.24 m ² 3 階床面積：1,762.56 m ² 建築面積：1,866.24 m ² （建ぺい率：24.51%） 延床面積：5,495.04 m ² （容積率：72.17%） 平面駐車：110 台				

表 5-15 整備イメージ（候補地 3：東石川第四公園グランド敷地）

候補地 3：東石川第四公園グランド敷地				
位置	石川町 25	敷地面積	30,123.00 m ² （グランド部分は約 10,000 m ² ）	
用途地域	第二種住居地域	建ぺい率	60%	容積率 200%
防火指定	なし	高度地区	なし	
日影規制	4m・5h / 3h（建築物の高さ>10m のとき適用）	地区計画	石川・青葉地区計画	
その他	・都市計画公園：建ぺい率 15%（5%+教養施設特例 10%）			
建築可能面積	最大建築面積：4,518.45 m ² （建ぺい率 15%とした場合）※既存建築物を含む			
<p>▲：建物利用者出入口 △：管理者出入口 ▲：車両出入口</p>				
面積 駐車台数	1 階床面積：2,799.36 m ² 2 階床面積：2,695.68 m ² 建築面積：2,799.36 m ² （建ぺい率：9.23%）※石川町プール部分建築面積（約 973 m ² ）は除く 延床面積：5,495.04 m ² （容積率：18.18%） 平面駐車：110 台			

(4) 整備候補地の比較検討状況

整備候補地の検討にあたっては、想定する整備内容を表 5-9 のとおり、建物の規模を延床面積約 5,500 m²、駐車場の規模を約 110 台として、各整備候補地における指定建ぺい率や斜線制限、容積率、日影規制などを踏まえ、建物や駐車場の配置等を調査した結果、表 5-11 ～表 5-15 の整備イメージになりました。

候補地 1 - A (現況敷地) は、建築可能な建物が地上 3 階地下 1 階、延床面積 4,561.92 m² となり、約 5,500 m² の施設規模を整備できないことがわかりました。駐車場は、平面駐車場で 110 台分を確保できます。

候補地 1 - B (市営元町駐車場敷地) は、地上 3 階の建物で想定する施設規模を整備できます。駐車場は、110 台分を整備するには中央図書館敷地に 3 階建ての立体駐車場が必要となります。

候補地 2 (青少年センター・生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地) は、地上 3 階の建物で想定する施設規模を整備できます。駐車場は、110 台に現市営勝田中央駐車場と商工会議所用駐車場分を加えた 210 台分を整備すると、3 階建ての立体駐車場が必要となります。なお、敷地内に平面駐車場を整備する場合、駐車台数は 110 台になります。

候補地 3 (東石川第四公園グランド敷地) は、地上 2 階の建物で想定する施設規模を整備できます。駐車場は、平面駐車場で 110 台分を整備できます。

今後は、アクセス性や利便性、都市機能等の集積度、整備に係るコスト等を加えて調査を進め、整備候補地について総合的に検討してまいります。